

英語 科 1 年 英語コミュニケーション I 年間授業計画 (シラバス)

科目名	英語コミュニケーション I	対象	スポーツ	コース	単位数	3 単位
教科書	Power On English Communication I		出版社		東京書籍	
副教材	Power On English Communication I WORKBOOK WORDBOX 英単語・熟語 [Essential] transfer 英語総合問題演習 A					

1 学習の到達目標

日常的・社会的な話題について、多くの支援を活用すれば、

1. 必要な情報を聞き取り、話し手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。
2. 必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。
3. 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合うやり取りを続けたり、論理性に注意して話して伝え合ったりすることができる。
4. 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝えることができる。
5. 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して文章を書いて伝えることができる。

2 評価の観点・内容・方法、及び成績評価の方法

①評価の観点・内容・方法

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外国語の音声や語彙, 表現, 文法, 言語の働きなどについて理解を深めている。</li> <li>・外国語の音声や語彙, 表現, 文法, 言語の働きなどの知識を, 聞くこと, 読むこと, 話すこと, 書くことによる実際のコミュニケーションにおいて, 目的や場面, 状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。</li> </ul>	コミュニケーションを行う目的や場面, 状況などに応じて, 日常的话题や社会的な話題について, 外国語で情報や考えなどの概要や要点, 詳細, 話し手や書き手の意図などを的確に理解したり, これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め, 聞き手, 読み手, 話し手, 書き手に配慮しながら, 主体的, 自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。
評価の方法	定期考査 学力テスト 単元テスト 小テスト レポート 授業観察など	定期考査 学力テスト 単元テスト 小テスト レポート 授業観察など	学習課題 ワークシート レポート ノート 授業観察など

②成績評価の方法

①の評価の方法によって、学年末に評定にまとめます。

評価の内容 知識・技能 35%, 思考・判断・表現 35%, 主体的に学習に取り組む態度 30%

3 学習計画

※評価の観点：a（知識・技能）、b（思考・判断・表現）、c（主体的に学習に取り組む態度）

月	学 習 単 元	主 な 学 習 内 容 と 到 達 目 標	評価の観点			時間数
			a	b	c	
	予習復習体験学習 <b>Unit 1</b> Japan's New Tourism  <b>Unit 2</b> Light from Creatures  <1 学期中間考査>	<ul style="list-style-type: none"> <li>予習復習の体験学習をする。</li> <li>動詞の現在形・過去形，進行形，助動詞＋動詞の原形を用いた文の形・意味・用法を理解できる。</li> <li>過去と現在の日本の観光の状況について，動詞の現在形・過去形，進行形，助動詞＋動詞の原形などの理解を基に，必要な情報や話し手・書き手の意図，概要や要点を目的に応じて捉えたり，自分の住んでいる地域の魅力について，基本的な語句や文を用いて，情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝えることができる。</li> <li>過去と現在の日本の観光の状況について，必要な情報，話し手・書き手の意図，概要や要点を捉えたり，聞いたり読んだりしたことを活用しながら，自分の住んでいる地域の魅力について，情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝えることができる。</li> <li>受け身，現在完了形，現在完了進行形を用いた文の形・意味・用法を理解できる。</li> <li>光る生き物やその光が医療研究に利用されていることについて，受け身，現在完了形，現在完了進行形などの理解を基に，必要な情報や話し手・書き手の意図，概要や要点を目的に応じて捉えたり，光る生き物について，基本的な語句や文を用いて，情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝えることができる。</li> <li>光る生き物やその光が医療研究に利用されていることについて，必要な情報，話し手・書き手の意図，概要や要点を捉えたり，聞いたり読んだりしたことを活用しながら，光る生き物について，情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝えることができる。</li> <li>動名詞，不定詞，S＋V＋O [that 節] を用いた文の形・意味・用法を理解できる。</li> </ul>	○	○	○	14
	<b>Unit 3</b> Routes to the Top  <1 学期期末考査>	<ul style="list-style-type: none"> <li>野口選手や好きなスポーツ選手について，動詞の現在形・過去形，進行形，助動詞＋動詞の原形などの理解を基に，必要な情報や話し手・書き手の意図，概要や要点を目的に応じて捉えたり，自分や友達の好きなスポーツ選手について，基本的な語句や文を用いて，情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝えることができる。</li> <li>野口選手や好きなスポーツ選手について，必要な情報，話し手・書き手の意図，概要や要点を捉えたり，聞いたり読んだりしたことを活用しながら，自分や友達の好きなスポーツ選手について，情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝えることができる。</li> <li>後置修飾の現在分詞，後置修飾の過去分詞，比較級・最上級を用いた文の形・意味・用法を理解できる。</li> <li>日本や海外のマンガの形式やその翻訳について，動詞の現在形・過去形，進行形，助動詞＋動詞の原形などの理解を</li> </ul>	○	○	○	
	<b>Unit 4</b> Left to Right, Right?		○	○	○	



	<p>&lt;2 学期期末考査&gt;</p> <p><b>Unit 8</b> Oh My Cod!</p> <p><b>Unit 9</b> Is E-sports a Real Sport?</p> <p>&lt;学年末考査&gt;</p>	<p>して伝えることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・プラスチックごみによる海洋汚染について、必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点を捉えたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、プラスチックごみに関する話題やごみを減らす対策について、情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝えることができる。</li> <li>・現在分詞の分詞構文、関係代名詞の非制限用法、過去完了形を用いた文の形・意味・用法を理解できる。</li> <li>・食料資源、フィッシュ・アンド・チップスの起源や歴史について、現在分詞の分詞構文、関係代名詞の非制限用法、過去完了形などの理解を基に、必要な情報や話し手・書き手の意図、概要や要点を目的に応じて捉えたり、食べ物やマグロ漁獲量の現状について、基本的な語句や文を用いて、情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝えることができる。</li> <li>・食料資源、フィッシュ・アンド・チップスの起源や歴史について、必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点を捉えたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、食べ物やマグロ漁獲量の現状について、情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝えることができる。</li> <li>・S+V [知覚] +O+C [現在分詞, 原形不定詞] , S+V [使役] +O+C [原形不定詞] , S+V+O<sub>1</sub>+O<sub>2</sub> [ if などの節] を用いた文の形・意味・用法を理解できる。</li> <li>・e スポーツの現状、利点や欠点について、S+V [知覚] +O+C [現在分詞, 原形不定詞] , S+V [使役] +O+C [原形不定詞] , S+V+O<sub>1</sub>+O<sub>2</sub> [ if などの節] などの理解を基に、必要な情報や話し手・書き手の意図、概要や要点を目的に応じて捉えたり、e スポーツやe スポーツの利点について、基本的な語句や文を用いて、自分の考えや意見などを論理性に注意して話したり書いたりして伝えることができる。</li> <li>・e スポーツの現状、利点や欠点について、必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点を捉えたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、e スポーツやe スポーツの利点について、情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝えることができる。</li> </ul>	<p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p>	<p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p>	<p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p>	<p>22</p> <p>18</p>
--	---	--	---	--	--	---------------------

※学習状況により、進捗・内容を変更することがあります。

# 英語科 1年 英語コミュニケーションⅠ 年間授業計画（シラバス）

科目名	英語コミュニケーションⅠ	対象	進学	コース	単位数	3	単位
教科書	Power On English Communication I		出版社 東京書籍				
副教材	Power On English Communication I WORKBOOK WORDBOX 英単語・熟語 [Essential] transfer 英語総合問題演習 A						

## 1 学習の到達目標

<p>日常的・社会的な話題について、多くの支援を活用すれば、</p> <p>5.必要な情報を聞き取り、話し手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。</p> <p>6.必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。</p> <p>7.基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合うやり取りを続けたり、論理性に注意して話して伝え合ったりすることができる。</p> <p>8.基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝えることができる。</p> <p>9.基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して文章を書いて伝えることができる。</p>
---

## 2 評価の観点・内容・方法、及び成績評価の方法

### ①評価の観点・内容・方法

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどについて理解を深めている。</li> <li>・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。</li> </ul>	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。
評価の方法	定期考査 学力テスト 単元テスト 小テスト レポート 授業観察など	定期考査 学力テスト 単元テスト 小テスト レポート 授業観察など	学習課題 ワークシート レポート ノート 授業観察など

### ②成績評価の方法

①の評価の方法によって、学年末に評定にまとめます。

評価の内容 知識・技能 35%，思考・判断・表現 35%，主体的に学習に取り組む態度 30%

## 3 学習計画

※評価の観点：a（知識・技能）、b（思考・判断・表現）、c（主体的に学習に取り組む態度）

月	学 習 単 元	主 な 学 習 内 容 と 到 達 目 標	評 価 の 観 点			時 間 数
			a	b	c	
	予習復習体験学習 <b>Unit 1</b> Japan's New Tourism  <b>Unit 2</b> Light from Creatures  <1 学期中間考査>	<ul style="list-style-type: none"> <li>予習復習の体験学習をする。</li> <li>動詞の現在形・過去形，進行形，助動詞＋動詞の原形を用いた文の形・意味・用法を理解できる。</li> <li>過去と現在の日本の観光の状況について，動詞の現在形・過去形，進行形，助動詞＋動詞の原形などの理解を基に，必要な情報や話し手・書き手の意図，概要や要点を目的に応じて捉えたり，自分の住んでいる地域の魅力について，基本的な語句や文を用いて，情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝えることができる。</li> <li>過去と現在の日本の観光の状況について，必要な情報，話し手・書き手の意図，概要や要点を捉えたり，聞いたり読んだりしたことを活用しながら，自分の住んでいる地域の魅力について，情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝えることができる。</li> <li>受け身，現在完了形，現在完了進行形を用いた文の形・意味・用法を理解できる。</li> <li>光る生き物やその光が医療研究に利用されていることについて，受け身，現在完了形，現在完了進行形などの理解を基に，必要な情報や話し手・書き手の意図，概要や要点を目的に応じて捉えたり，光る生き物について，基本的な語句や文を用いて，情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝えることができる。</li> <li>光る生き物やその光が医療研究に利用されていることについて，必要な情報，話し手・書き手の意図，概要や要点を捉えたり，聞いたり読んだりしたことを活用しながら，光る生き物について，情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝えることができる。</li> <li>動名詞，不定詞，S＋V＋O [that 節] を用いた文の形・意味・用法を理解できる。</li> </ul>	○	○	○	14
	<b>Unit 3</b> Routes to the Top  <1 学期期末考査>	<ul style="list-style-type: none"> <li>野口選手や好きなスポーツ選手について，動詞の現在形・過去形，進行形，助動詞＋動詞の原形などの理解を基に，必要な情報や話し手・書き手の意図，概要や要点を目的に応じて捉えたり，自分や友達の好きなスポーツ選手について，基本的な語句や文を用いて，情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝えることができる。</li> <li>野口選手や好きなスポーツ選手について，必要な情報，話し手・書き手の意図，概要や要点を捉えたり，聞いたり読んだりしたことを活用しながら，自分や友達の好きなスポーツ選手について，情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝えることができる。</li> <li>後置修飾の現在分詞，後置修飾の過去分詞，比較級・最上級を用いた文の形・意味・用法を理解できる。</li> </ul>	○	○	○	
	<b>Unit 4</b> Left to Right, Right?	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本や海外のマンガの形式やその翻訳について，動詞の現在形・過去形，進行形，助動詞＋動詞の原形などの理解を基に，必要な情報や話し手・書き手の意図，概要や要点を</li> </ul>	○			



	<p>&lt;2 学期期末考査&gt;</p> <p><b>Unit 8</b> Oh My Cod!</p> <p><b>Unit 9</b> Is E-sports a Real Sport?</p> <p>&lt;学年末考査&gt;</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プラスチックごみによる海洋汚染について、必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点を捉えたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、プラスチックごみに関する話題やごみを減らす対策について、情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝えることができる。</li> <li>・現在分詞の分詞構文、関係代名詞の非制限用法、過去完了形を用いた文の形・意味・用法を理解できる。</li> <li>・食料資源、フィッシュ・アンド・チップスの起源や歴史について、現在分詞の分詞構文、関係代名詞の非制限用法、過去完了形などの理解を基に、必要な情報や話し手・書き手の意図、概要や要点を目的に応じて捉えたり、食べ物やマグロ漁獲量の現状について、基本的な語句や文を用いて、情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝えることができる。</li> <li>・食料資源、フィッシュ・アンド・チップスの起源や歴史について、必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点を捉えたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、食べ物やマグロ漁獲量の現状について、情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝えることができる。</li> <li>・S+V [知覚] +O+C [現在分詞, 原形不定詞], S+V [使役] +O+C [原形不定詞], S+V+O<sub>1</sub>+O<sub>2</sub> [ if などの節] を用いた文の形・意味・用法を理解できる。</li> <li>・e スポーツの現状、利点や欠点について、S+V [知覚] +O+C [現在分詞, 原形不定詞], S+V [使役] +O+C [原形不定詞], S+V+O<sub>1</sub>+O<sub>2</sub> [ if などの節] などの理解を基に、必要な情報や話し手・書き手の意図、概要や要点を目的に応じて捉えたり、e スポーツやe スポーツの利点について、基本的な語句や文を用いて、自分の考えや意見などを論理性に注意して話したり書いたりして伝えることができる。</li> <li>・e スポーツの現状、利点や欠点について、必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点を捉えたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、e スポーツやe スポーツの利点について、情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝えることができる。</li> </ul>	<p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p>	<p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p>	<p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p>	<p>22</p> <p>18</p>
--	---	--	--	---	---	---------------------

※学習状況により、進捗・内容を変更することがあります。

英語 科 1 年 英語コミュニケーション I 年間授業計画 (シラバス)				
科目名	英語コミュニケーション I	対象	特進 コース	単位数 4 単位
教科書	ENRICH LEARNING English Communication I 出版社 東京書籍			
副教材	ENRICH LEARNING English Communication I 本文学習ノート ENRICH LEARNING English Communication I WORKBOOK システム英単語[5訂版] transfer 英語総合問題演習 A transfer 英語総合問題演習 B			

## 1 学習の到達目標

<p>日常的・社会的な話題について、多くの支援を活用すれば、</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1.必要な情報を聞き取り、話し手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。</li> <li>2.必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。</li> <li>3.基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合うやり取りを続けたり、論理性に注意して話して伝え合ったりすることができる。</li> <li>4.基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝えることができる。</li> <li>5.基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して文章を書いて伝えることができる。</li> </ol>
--

## 2 評価の観点・内容・方法、及び成績評価の方法

### ①評価の観点・内容・方法

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外国語の音声や語彙, 表現, 文法, 言語の働きなどについて理解を深めている。</li> <li>・外国語の音声や語彙, 表現, 文法, 言語の働きなどの知識を, 聞くこと, 読むこと, 話すこと, 書くことによる実際のコミュニケーションにおいて, 目的や場面, 状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。</li> </ul>	<p>コミュニケーションを行う目的や場面, 状況などに応じて, 日常的话题や社会的な話題について, 外国語で情報や考えなどの概要や要点, 詳細, 話し手や書き手の意図などを的確に理解したり, これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。</p>	<p>外国語の背景にある文化に対する理解を深め, 聞き手, 読み手, 話し手, 書き手に配慮しながら, 主体的, 自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。</p>
評価の方法	定期考査 学力テスト 単元テスト 小テスト レポート 授業観察など	定期考査 学力テスト 単元テスト 小テスト レポート 授業観察など	学習課題 ワークシート レポート ノート 授業観察など

### ②成績評価の方法

①の評価の方法によって、学年末に評定にまとめます。

評価の内容 知識・技能 35%, 思考・判断・表現 35%, 主体的に学習に取り組む態度 30%

## 3 学習計画

※評価の観点：a (知識・技能), b (思考・判断・表現), c (主体的に学習に取り組む態度)

月	学習単元	主な学習内容と到達目標	評価の観点	時間数
---	------	-------------	-------	-----

			a	b	c	
4	予習復習体験学習 <b>Unit 1</b> What can happen in one second?	<ul style="list-style-type: none"> <li>予習復習の体験学習をする。</li> <li>受け身、不定詞、動名詞を用いた文の形・意味・用法を理解できる。</li> <li>疑問詞やつなぎ言葉について、プレゼンテーションのスタイルに対応した適切な用法を理解できる。</li> <li>疑問詞やつなぎ言葉などを用いて、身のまわりや世界で起きている話題について、聞き手へ問いかけたり、理由や根拠を示すなどしたりしながら、自分の考えや気持ちを話して伝えることができる。</li> <li>情報伝達型プレゼンテーションの場面で、身のまわりや世界で起きている話題について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、情報や自分の考えなどを、聞き手にわかりやすく話して伝えることができる。</li> </ul>	○			
5	<b>Unit 2</b> What do superstitions mean to you?  < 1 学期中間考査 >	<ul style="list-style-type: none"> <li>助動詞+受け身、現在完了進行形を用いた文の形・意味・用法を理解できる。</li> <li>条件節と帰結節を用いて、要点を書いたり、具体例を提示したりしながら物事を描写する方法を理解できる。</li> <li>条件節と帰結節などを用いて、迷信や信念について、読み手が誰であることを意識しながら、要点を書いたり、具体例を提示したりすることができる。</li> <li>ラッキーアイテムを紹介するために、身のまわりの迷信や信念について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、読み手を意識して要点や具体例を書くことができる。</li> </ul>	○			20
6	<b>Unit 3</b> How can we promote sustainability?	<ul style="list-style-type: none"> <li>分詞の形容詞用法や関係代名詞（省略の形を含む）を用いた文の形・意味・用法を理解できる。</li> <li>フォーマルな文体で E メールを書き、目的を伝えたり質問をしたりする方法を理解できる。</li> </ul>	○			
7	< 1 学期期末考査 >	<ul style="list-style-type: none"> <li>分詞の形容詞用法や関係代名詞（省略の形を含む）などを用いて、フォーマルな文体で、目的を伝えたり質問をしたりすることができる。</li> </ul>	○			25
8		<ul style="list-style-type: none"> <li>フォーマルな E メールを書く場面で、環境保全に関する内容について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、読み手を意識して目的を伝えたり質問内容を書くことができる。</li> </ul>		○	○	
9	<b>Unit 4</b> What can we learn from native Hawaiians?	<ul style="list-style-type: none"> <li>現在完了形の受け身、過去完了形を用いた文の形・意味・用法を理解できる。</li> <li>事実と意見を分けたり、ポイントを絞って伝えたりといった、スピーチのスタイルに対応した適切な方法を理解できる。</li> <li>身のまわりの言葉や文化に関する話題について、事実や意見を分けたり、ポイントを絞ったりしながら、自分の考えや気持ちを話して伝えることができる。</li> </ul>	○			

10	<b>Unit 5</b> Why do people tell each other stories?  < 2 学期中間考査 >	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スピーチの場面で、身のまわりの言葉や文化に関する話題について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、情報や自分の考えなどを、聞き手にわかりやすく話して伝えることができる。</li> <li>・SVOC [分詞] , 関係副詞 how, 助動詞の過去形を用いた文の形・意味・用法を理解できる。</li> <li>・体験談を伝えるために、適切な表現や方法を理解できる。</li> <li>・体験談を伝える際の表現や方法を用いて、身のまわりの出来事について、聞き手を引き付けながら、わかりやすく伝えるなどし、自分の考えや気持ちを話して伝えることができる。</li> <li>・スピーチの場面で、身のまわりの出来事について、体験した内容を基に、聞き手を引き付けながら、わかりやすく自分の考えや気持ちを話して伝えることができる。</li> </ul>	○	○		25
11	<b>Unit 6</b> What are the qualities of a good leader?	<ul style="list-style-type: none"> <li>・分詞構文, 関係副詞 where [when / why]を用いた文の形・意味・用法を理解できる。</li> <li>・リーダーシップに関連した語いや表現を用いるなどして、人物の略歴を紹介する適切な方法を理解できる。</li> </ul>	○	○		
12	< 2 学期期末考査 >	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ある人物について、時系列で書いたり、略歴を紹介したりしながら、関連のある情報を簡潔かつ正確に原稿に書くことができる。</li> <li>・ある人物を紹介するために、関連のある情報を時系列で書いたり、略歴を紹介したりし、読み手を意識しながら簡潔かつ正確に紹介文を書くことができる。</li> </ul>	○	○		30
1	<b>Unit 7</b> Where will you live in the future?	<ul style="list-style-type: none"> <li>・原形不定詞, 仮定法過去完了, 過去完了進行形を用いた文の形・意味・用法を理解できる。</li> <li>・場所に関連した語いや表現を用いるなどして、将来住みたい場所についてのエッセイを書く、適切な方法を理解できる。</li> <li>・将来住みたい場所についてのエッセイを書くにあたり、パラグラフの構成を意識して書いたり、本論で理由を具体例とともに述べたりしながら、首尾一貫性のある原稿を書くことができる。</li> <li>・将来住みたい場所についての主張を展開するために、パラグラフの構成を意識して書いたり、本論で理由を具体例とともに述べたりし、読み手を意識しながら首尾一貫性のある原稿を書くことができる。</li> </ul>	○	○		
2	<b>Unit 8</b> How do cultures and traditions affect teens' lives?	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関係代名詞 what, 関係代名詞の非制限用法を用いた文の形・意味・用法を理解できる。</li> <li>・外国の高校生の日常生活について、自分の生活との類似点や相違点に触れながら、プレゼンテーションの場面でその概要を伝える適切な表現や方法を理解でき</li> </ul>	○	○		

3	<学年末考査>	<p>る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・外国の高校生の日常生活について、自分の生活との類似点や相違点に触れながら、プレゼンテーションの場面でその概要を伝えることができる。</li> <li>・メモを活用して、プレゼンテーションを行うことができる。</li> <li>・プレゼンテーションの場面で、外国の高校生の日常生活について、自分の生活との類似点や相違点に触れながら、メモを活用して、その概要をわかりやすく話して伝えることができる。</li> </ul>	○	○	○	26
---	---------	--	---	---	---	----

※学習状況により、進捗・内容を変更することがあります。

英語 科 1 年 論理・表現 I 年間授業計画 (シラバス)					
科目名	論理・表現 I	対象	スポーツ	コース	単位数 2 単位
教科書	FACTBOOK English Logic and Expression I 出版社 桐原書店				
副教材	FACTBOOK English Logic and Expression I Workbook 【Essential】 総合英語 FACTBOOK これからの英文法 NEW EDITION				

### 1 学習の到達目標

日常的・社会的な話題について、多くの支援を活用すれば、

1. 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合うやり取りを続けたり、論理性に注意して話して伝え合ったりすることができる。
2. 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝えることができる。
3. 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して文章を書いて伝えることができる。

### 2 評価の観点・内容・方法、及び成績評価の方法

#### ①評価の観点・内容・方法

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどについて理解を深めている。</li> <li>・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。</li> </ul>	<p>コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的话题や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。</p>	<p>外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。</p>
評価の方法	定期考査 学力テスト 単元テスト 小テスト レポート 授業観察など	定期考査 学力テスト 単元テスト 小テスト レポート 授業観察など	学習課題 ワークシート レポート ノート 授業観察など

#### ②成績評価の方法

①の評価の方法によって、学年末に評定にまとめます。

評価の内容 知識・技能 35%，思考・判断・表現 35%，主体的に学習に取り組む態度 30%

### 3 学習計画

※評価の観点：a (知識・技能)，b (思考・判断・表現)，c (主体的に学習に取り組む態度)

月	学 習 単 元	主 な 学 習 内 容 と 到 達 目 標	評価の観点			時間数
			a	b	c	

4	予習復習体験学習 <b>Unit 0</b> Get to know more about your classmates	<ul style="list-style-type: none"> <li>予習復習の体験学習をする。</li> <li>相手について今まで知らなかったことを聞き出すことができる。</li> <li>相手と会話を続けて、自分との共通点を探し出すことができる。</li> </ul>	○	○	○	
5	<b>Unit 1</b> Smart home, smart city  < 1 学期中間考査 >	<ul style="list-style-type: none"> <li>希望を伝え、スケジュールを相談しながら決めることができる。</li> <li>情報を共有し、自分たちの町に役立つか話し合うことができる。</li> <li>展示会についての感想をブログの日記に書くことができる。</li> </ul>	○	○	○	
6	<b>Unit 2</b> History and future of our town	<ul style="list-style-type: none"> <li>魅力を紹介し、相手に関心を持たせて誘うことができる。</li> <li>通りを見ながら町並みの変化について説明することができる。</li> <li>移住体験ツアーをすすめるウェブの広告文を書くことができる。</li> </ul>	○	○	○	
7	<b>Unit 3</b> Preparing for a natural disaster	<ul style="list-style-type: none"> <li>興味のある商品を紹介し、その特長を説明することができる。</li> <li>店員に要望を伝え、購入する商品を決めることができる。</li> <li>防災意識を高めるパンフレットの文章を書くことができる。</li> </ul>	○	○	○	
8			○	○	○	
9	< 1 学期期末考査 > <b>Unit 4</b> Water supporting our lives	<ul style="list-style-type: none"> <li>相手が知らない情報について説明することができる。</li> <li>問題に対処するための道具を紹介することができる。</li> <li>購入の寄付を募るためのポスターを書くことができる。</li> </ul>	○	○	○	
10	<b>Unit 5</b> Save food you can still eat!	<ul style="list-style-type: none"> <li>お互いの状況を踏まえて問題解決の結論を出すことができる。</li> <li>情報を照らし合わせて条件に合うものを確認することができる。</li> <li>フードバンク団体を支援する手紙を書くことができる。</li> </ul>	○	○	○	
11	< 2 学期中間考査 > <b>Unit 6</b> How can we become more health-conscious?	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の生活習慣を確認し、変えたい習慣を伝えることができる。</li> <li>相手からの悩み相談にアドバイスをすることができる。</li> <li>生活習慣についての意見をウェブの掲示板に書くことができる。</li> </ul>	○	○	○	
	<b>Unit 7</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>贈るための商品を相談しながら決めることができる。</li> <li>プレゼントへの感謝の気持ちを伝えることができる。</li> <li>企業の講演に感想やお礼のメールを書くことができ</li> </ul>	○	○	○	
			○	○	○	6
						12
						12

12	How many clothes do you buy?	る。				
1	<b>Unit 8</b> How do you decide which products to buy?	<ul style="list-style-type: none"> <li>• おすすめの商品を比較しながら紹介することができる。</li> <li>• 図表を見ながらパンフレットの内容を説明することができる。</li> <li>• フェアトレード商品のよさをブログで発信することができる。</li> </ul>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
	< 2 学期期末考査 >					
2	<b>Unit 9</b> A variety of ways to improve your English	<ul style="list-style-type: none"> <li>• お互いの考えるよい方法を具体的に説明し合うことができる。</li> <li>• お互いの希望を伝え合い参加プログラムを決めることができる。</li> <li>• 事前の問い合わせで疑問点を尋ねるメールを書くことができる。</li> </ul>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	19
	<b>Unit 10</b> How can we become foreigner-friendly?	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 相手の要望に合った提案をすることができる。</li> <li>• 旅のエピソードを聞いて問題の解決策を話し合うことができる。</li> <li>• 外国人観光客に役立つパンフレットの文章を書くことができる。</li> </ul>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
3	< 学年末考査 >					14

※学習状況により、進捗・内容を変更することがあります。

英語 科 1 年						論理・表現 I		年間授業計画 (シラバス)	
科目名	論理・表現 I	対象	進学	コース	単位数	2 単位			
教科書	FACTBOOK English Logic and Expression I			出版社	桐原書店				
副教材	FACTBOOK English Logic and Expression I Workbook 【Essential】								
	総合英語 FACTBOOK これからの英文法 NEW EDITION								

## 1 学習の到達目標

日常的・社会的な話題について、多くの支援を活用すれば、

- 1.基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合うやり取りを続けたり、論理性に注意して話して伝え合ったりすることができる。
- 2.基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝えることができる。
- 3.基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して文章を書いて伝えることができる。

## 2 評価の観点・内容・方法、及び成績評価の方法

### ①評価の観点・内容・方法

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外国語の音声や語彙, 表現, 文法, 言語の働きなどについて理解を深めている。</li> <li>・外国語の音声や語彙, 表現, 文法, 言語の働きなどの知識を, 聞くこと, 読むこと, 話すこと, 書くことによる実際のコミュニケーションにおいて, 目的や場面, 状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。</li> </ul>	<p>コミュニケーションを行う目的や場面, 状況などに応じて, 日常的话题や社会的な話題について, 外国語で情報や考えなどの概要や要点, 詳細, 話し手や書き手の意図などを的確に理解したり, これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。</p>	<p>外国語の背景にある文化に対する理解を深め, 聞き手, 読み手, 話し手, 書き手に配慮しながら, 主体的, 自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。</p>
評価の方法	定期考査 学力テスト 単元テスト 小テスト レポート 授業観察など	定期考査 学力テスト 単元テスト 小テスト レポート 授業観察など	学習課題 ワークシート レポート ノート 授業観察など

### ②成績評価の方法

①の評価の方法によって、学年末に評定にまとめます。

評価の内容 知識・技能 35%, 思考・判断・表現 35%, 主体的に学習に取り組む態度 30%

## 3 学習計画

※評価の観点：a (知識・技能), b (思考・判断・表現), c (主体的に学習に取り組む態度)

月	学 習 単 元	主 な 学 習 内 容 と 到 達 目 標	評価の観点			時間数
			a	b	c	

4	予習復習体験学習 <b>Unit 0</b> Get to know more about your classmates	<ul style="list-style-type: none"> <li>予習復習の体験学習をする。</li> <li>相手について今まで知らなかったことを聞き出すことができる。</li> <li>相手と会話を続けて、自分との共通点を探し出すことができる。</li> </ul>	○	○	○	6
5	<b>Unit 1</b> Smart home, smart city  < 1 学期中間考査 >	<ul style="list-style-type: none"> <li>希望を伝え、スケジュールを相談しながら決めることができる。</li> <li>情報を共有し、自分たちの町に役立つか話し合うことができる。</li> <li>展示会についての感想をブログの日記に書くことができる。</li> </ul>	○	○	○	
6	<b>Unit 2</b> History and future of our town	<ul style="list-style-type: none"> <li>魅力を紹介し、相手に関心を持たせて誘うことができる。</li> <li>通りを見ながら町並みの変化について説明することができる。</li> <li>移住体験ツアーをすすめるウェブの広告文を書くことができる。</li> </ul>	○	○	○	
7	<b>Unit 3</b> Preparing for a natural disaster	<ul style="list-style-type: none"> <li>興味のある商品を紹介し、その特長を説明することができる。</li> <li>店員に要望を伝え、購入する商品を決めることができる。</li> <li>防災意識を高めるパンフレットの文章を書くことができる。</li> </ul>	○	○	○	
8	< 1 学期期末考査 >	<ul style="list-style-type: none"> <li>相手が知らない情報について説明することができる。</li> <li>問題に対処するための道具を紹介することができる。</li> <li>購入の寄付を募るためのポスターを書くことができる。</li> </ul>	○	○	○	
9	<b>Unit 4</b> Water supporting our lives	<ul style="list-style-type: none"> <li>お互いの状況を踏まえて問題解決の結論を出すことができる。</li> <li>情報を照らし合わせて条件に合うものを確認することができる。</li> <li>フードバンク団体を支援する手紙を書くことができる。</li> </ul>	○	○	○	
10	<b>Unit 5</b> Save food you can still eat!	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の生活習慣を確認し、変えたい習慣を伝えることができる。</li> <li>相手からの悩み相談にアドバイスをすることができる。</li> <li>生活習慣についての意見をウェブの掲示板に書くことができる。</li> <li>贈るための商品を相談しながら決めることができる。</li> <li>プレゼントへの感謝の気持ちを伝えることができる。</li> <li>企業の講演に感想やお礼のメールを書くことができ</li> </ul>	○	○	○	
11	< 2 学期中間考査 > <b>Unit 6</b> How can we become more health-conscious?		○	○	○	12
	<b>Unit 7</b>		○	○	○	

12	How many clothes do you buy?	る。				
1	<b>Unit 8</b> How do you decide which products to buy?	<ul style="list-style-type: none"> <li>• おすすめの商品を比較しながら紹介することができる。</li> <li>• 図表を見ながらパンフレットの内容を説明することができる。</li> <li>• フェアトレード商品のよさをブログで発信することができる。</li> </ul>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
	< 2 学期期末考査 >					
2	<b>Unit 9</b> A variety of ways to improve your English	<ul style="list-style-type: none"> <li>• お互いの考えるよい方法を具体的に説明し合うことができる。</li> <li>• お互いの希望を伝え合い参加プログラムを決めることができる。</li> <li>• 事前の問い合わせで疑問点を尋ねるメールを書くことができる。</li> </ul>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	19
	<b>Unit 10</b> How can we become foreigner-friendly?	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 相手の要望に合った提案をすることができる。</li> <li>• 旅のエピソードを聞いて問題の解決策を話し合うことができる。</li> <li>• 外国人観光客に役立つパンフレットの文章を書くことができる。</li> </ul>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
3	< 学年末考査 >					14

※学習状況により、進捗・内容を変更することがあります。

英語 科 1 年		論理・表現 I	年間授業計画 (シラバス)		
科目名	論理・表現 I	対象	特進	コース	単位数 3 単位
教科書	FACTBOOK English Logic and Expression I		出版社 桐原書店		
副教材	FACTBOOK English Logic and Expression I Workbook 【Mastery】 総合英語 FACTBOOK これからの英文法 NEW EDITION				

### 1 学習の到達目標

日常的・社会的な話題について、多くの支援を活用すれば、

4. 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合うやり取りを続けたり、論理性に注意して話して伝え合ったりすることができる。
5. 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝えることができる。
6. 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して文章を書いて伝えることができる。

### 2 評価の観点・内容・方法、及び成績評価の方法

#### ①評価の観点・内容・方法

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどについて理解を深めている。</li> <li>・ 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。</li> </ul>	<p>コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。</p>	<p>外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。</p>
評価の方法	定期考査 学力テスト 単元テスト 小テスト レポート 授業観察など	定期考査 学力テスト 単元テスト 小テスト レポート 授業観察など	学習課題 ワークシート レポート ノート 授業観察など

#### ②成績評価の方法

①の評価の方法によって、学年末に評定にまとめます。

評価の内容 知識・技能 35%，思考・判断・表現 35%，主体的に学習に取り組む態度 30%

### 3 学習計画

※評価の観点：a (知識・技能)，b (思考・判断・表現)，c (主体的に学習に取り組む態度)

月	学 習 単 元	主 な 学 習 内 容 と 到 達 目 標	評価の観点			時間数
			a	b	c	

4	予習復習体験学習 <b>Unit 0</b> Get to know more about your classmates	<ul style="list-style-type: none"> <li>予習復習の体験学習をする。</li> <li>相手について今まで知らなかったことを聞き出すことができる。</li> <li>相手と会話を続けて、自分との共通点を探し出すことができる。</li> </ul>	○	○	○	15	
5	<b>Unit 1</b> Smart home, smart city  < 1 学期中間考査 >	<ul style="list-style-type: none"> <li>希望を伝え、スケジュールを相談しながら決めることができる。</li> <li>情報を共有し、自分たちの町に役立つか話し合うことができる。</li> <li>展示会についての感想をブログの日記に書くことができる。</li> </ul>	○	○	○		
6	<b>Unit 2</b> History and future of our town	<ul style="list-style-type: none"> <li>魅力を紹介し、相手に関心を持たせて誘うことができる。</li> <li>通りを見ながら町並みの変化について説明することができる。</li> <li>移住体験ツアーをすすめるウェブの広告文を書くことができる。</li> </ul>	○	○	○		
7	<b>Unit 3</b> Preparing for a natural disaster	<ul style="list-style-type: none"> <li>興味のある商品を紹介し、その特長を説明することができる。</li> <li>店員に要望を伝え、購入する商品を決めることができる。</li> </ul>	○	○	○		19
8	< 1 学期期末考査 >	<ul style="list-style-type: none"> <li>防災意識を高めるパンフレットの文章を書くことができる。</li> </ul>	○	○	○		
9	<b>Unit 4</b> Water supporting our lives	<ul style="list-style-type: none"> <li>相手が知らない情報について説明することができる。</li> <li>問題に対処するための道具を紹介することができる。</li> <li>購入の寄付を募るためのポスターを書くことができる。</li> </ul>	○	○	○		
10	<b>Unit 5</b> Save food you can still eat!  < 2 学期中間考査 >	<ul style="list-style-type: none"> <li>お互いの状況を踏まえて問題解決の結論を出すことができる。</li> <li>情報を照らし合わせて条件に合うものを確認することができる。</li> <li>フードバンク団体を支援する手紙を書くことができる。</li> </ul>	○	○	○	19	
11	<b>Unit 6</b> How can we become more health-conscious?	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の生活習慣を確認し、変えたい習慣を伝えることができる。</li> <li>相手からの悩み相談にアドバイスをすることができる。</li> <li>生活習慣についての意見をウェブの掲示板に書くことができる。</li> </ul>	○	○	○		
	<b>Unit 7</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>贈るための商品を相談しながら決めることができる。</li> <li>プレゼントへの感謝の気持ちを伝えることができる。</li> <li>企業の講演に感想やお礼のメールを書くことができ</li> </ul>	○	○	○		

12	How many clothes do you buy?	る。				23
1	< 2 学期期末考査 >  <b>Unit 8</b> How do you decide which products to buy?	<ul style="list-style-type: none"> <li>・おすすめの商品と比較しながら紹介することができる。</li> <li>・図表を見ながらパンフレットの内容を説明することができる。</li> <li>・フェアトレード商品のよさをブログで発信することができる。</li> </ul>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
2	<b>Unit 9</b> A variety of ways to improve your English	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お互いの考えるよい方法を具体的に説明し合うことができる。</li> <li>・お互いの希望を伝え合い参加プログラムを決めることができる。</li> <li>・事前の問い合わせで疑問点を尋ねるメールを書くことができる。</li> </ul>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
3	<b>Unit 10</b> How can we become foreigner-friendly?  < 学年末考査 >	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相手の要望に合った提案をすることができる。</li> <li>・旅のエピソードを聞いて問題の解決策を話し合うことができる。</li> <li>・外国人観光客に役立つパンフレットの文章を書くことができる。</li> </ul>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	19

※学習状況により、進度・内容を変更することがあります。

英語 科 2 年 英語コミュニケーションⅡ 年間授業計画 (シラバス)

科目名	英語コミュニケーションⅡ	対象	スポーツ	コース	単位数	3	単位
教科書	Power On English Communication Ⅱ		出版社		東京書籍		
副教材	Power On English Communication Ⅱ WORKBOOK transfer 英語総合問題演習 B						

1 学習の到達目標

日常的・社会的な話題について、一定の支援を活用すれば、

- 必要な情報を聞き取り、話の展開や話し手の意図を把握したり、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えたりすることができる。
- 必要な情報を読み取り、文章の展開や書き手の意図を把握したり、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えたりすることができる。
- 多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを複数の文で詳しく話して伝え合うやり取りを続けたり、論理性に注意して複数の文で詳しく話して伝え合ったりすることができる。
- 多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して複数の文で詳しく話して伝えることができる。
- 多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して、複数の段落から成る文章で詳しく書いて伝えることができる。

2 評価の観点・内容・方法、及び成績評価の方法

①評価の観点・内容・方法

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどについて理解を深めている。</li> <li>外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。</li> </ul>	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。
評価の方法	定期考査 学力テスト 単元テスト 小テスト レポート 授業観察など	定期考査 学力テスト 単元テスト 小テスト レポート 授業観察など	学習課題 ワークシート レポート ノート 授業観察など

②成績評価の方法

①の評価の方法によって、学年末に評定にまとめます。

評価の内容 知識・技能 35%、思考・判断・表現 35%、主体的に学習に取り組む態度 30%

3 学習計画

※評価の観点：a（知識・技能），b（思考・判断・表現），c（主体的に学習に取り組む態度）

月	学 習 単 元	主 な 学 習 内 容 と 到 達 目 標	評価の観点			時間数
			a	b	c	
4	予習復習体験学習 <b>Unit 1</b> Play me, I'm Yours	<ul style="list-style-type: none"> <li>予習復習の体験学習をする。</li> <li>助動詞＋動詞の原形，受け身，S＋V [be 動詞以外] ＋Cを用いた文の形・意味・用法を理解できる。</li> <li>日本や海外でのストリートピアノと人々・社会とのかかわりについて，助動詞＋動詞の原形，受け身，S＋V [be 動詞以外] ＋Cなどの理解を基に，必要な情報，話し手・書き手の意図，概要や要点，詳細を目的に応じて捉えたり，ストリートピアノがどのような経緯で設置されたかについて，多様な語句や文を用いて，情報や自分の考えなどを詳しく話したり書いたりして伝えることができる。</li> <li>日本や海外でのストリートピアノと人々・社会とのかかわりについて，必要な情報，話し手・書き手の意図，概要や要点，詳細を捉えたり，聞いたり読んだりしたことを活用しながら，ストリートピアノがどのような経緯で設置されたかについて，情報や自分の考えなどを詳しく話したり書いたりして伝えることができる。</li> </ul>	○	○	○	14
5	<b>Unit 2</b> Ethical Fashion  < 1 学期中間考査 >	<ul style="list-style-type: none"> <li>S＋V＋O＋C [形容詞] ， S＋V [使役] ＋O＋C [原形不定詞] ， S＋V [知覚] ＋O＋C [現在分詞，原形不定詞] を用いた文の形・意味・用法を理解できる。</li> <li>ファストファッションの背後にある問題やエシカルファッションについて，S＋V＋O＋C [形容詞] ， S＋V [使役] ＋O＋C [原形不定詞] ， S＋V [知覚] ＋O＋C [現在分詞，原形不定詞] などの理解を基に，必要な情報，話し手・書き手の意図，概要や要点，詳細を目的に応じて捉えたり，自分の好きなファッションブランドのエシカルな活動について，多様な語句や文を用いて，情報や自分の考えなどを詳しく話したり書いたりして伝えることができる。</li> <li>ファストファッションの背後にある問題やエシカルファッションについて，必要な情報，話し手・書き手の意図，概要や要点，詳細を捉えたり，聞いたり読んだりしたことを活用しながら，自分の好きなファッションブランドのエシカルな活動について，情報や自分の考えなどを詳しく話したり書いたりして伝えることができる。</li> </ul>	○	○	○	
6	<b>Unit 3</b> One for All, All for One	<ul style="list-style-type: none"> <li>現在完了形，過去完了形，仮定法過去の if 節を用いた文の形・意味・用法を理解できる。</li> <li>ラグビー選手のマイケル・リーチ選手について，現在完了形，過去完了形，仮定法過去の if 節などの理解を基に，必要な情報，話し手・書き手の意図，概要や要点，詳細を目的に応じて捉えたり，自分の好きなスポーツ選手や有名人について，多様な語句や文を用いて，情報や自分の考えなどを詳しく話したり書いたりして伝えることができる。</li> <li>ラグビー選手のマイケル・リーチ選手について，必要な情報，話し手・書き手の意図，概要や要点，詳細を捉えたり，聞いたり読んだりしたことを活用しながら，自分の好きなスポーツ選手や有名人について，情報や自分の考えなどを詳しく話したり書いたりして伝えることができる。</li> </ul>	○	○	○	
7	<b>Unit 4</b> Vending Machines  < 1 学期期末考査 >	<ul style="list-style-type: none"> <li>関係代名詞（主格），関係代名詞の非制限用法，関係代名詞（目的格）を用いた文の形・意味・用法を理解できる。</li> <li>日本と海外の自動販売機について，関係代名詞（主格），関係代名詞の非制限用法，関係代名詞（目的格）などの理解を基に，必要な情報，話し手・書き手の意図，概要や要点，詳細を目的に応じて捉</li> </ul>	○	○	○	

9	<b>Unit 5</b> Design for Connecting Society: Braille Neue	<p>えたり、海外のユニークな自動販売機について、多様な語句や文を用いて、情報や自分の考えなどを詳しく話したり書いたりして伝えることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>日本と海外の自動販売機について、必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点、詳細を捉えたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、海外のユニークな自動販売機について、情報や自分の考えなどを詳しく話したり書いたりして伝えることができる。</li> <li>助動詞+受け身, S+V+C [分詞], S+V+O [if節], It seems [appears] +that節を用いた文の形・意味・用法を理解できる。</li> <li>ブレイルノイエの開発の経緯や利点と可能性について、助動詞+受け身, S+V+C [分詞], S+V+O [if節], It seems [appears] +that節などの理解を基に、必要な情報、話・文章の展開や話し手・書き手の意図、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えたり、ブレイルノイエの利点と活用方法について、多様な語句や文を用いて、情報や自分の考えなどを論理性に注意して詳しく話したり書いたりして伝えることができる。</li> <li>ブレイルノイエの開発の経緯や利点と可能性について、必要な情報、話・文章の展開や話し手・書き手の意図、概要や要点、詳細を捉えたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、ブレイルノイエの利点と活用方法について、情報や自分の考えなどを論理性に注意して詳しく話したり書いたりして伝えることができる。</li> </ul>	○	○		
10	<b>Unit 6</b> New Banknotes < 2学期中間考査 >	<ul style="list-style-type: none"> <li>It+is [was] +said+that節, 形式目的語 it と that節, 形式目的語 it と to 不定詞, 助動詞+have+過去分詞を用いた文の形・意味・用法を理解できる。</li> <li>新紙幣とキャッシュレス社会について, It+is [was] +said+that節, 形式目的語 it と that節, 形式目的語 it と to 不定詞, 助動詞+have+過去分詞などの理解を基に、必要な情報、話・文章の展開や話し手・書き手の意図、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えたり、キャッシュレス社会の長所・短所について、多様な語句や文を用いて、情報や自分の考えなどを論理性に注意して詳しく話したり書いたりして伝えることができる。</li> <li>新紙幣とキャッシュレス社会について、必要な情報、話・文章の展開や話し手・書き手の意図、概要や要点、詳細を捉えたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、キャッシュレス社会の長所・短所について、情報や自分の考えなどを論理性に注意して詳しく話したり書いたりして伝えることができる。</li> </ul>	○	○		22
11	<b>Unit 7</b> Some Secrets about Colors	<ul style="list-style-type: none"> <li>関係代名詞 (所有格), 同格を表す接続詞 that, 前置詞+関係代名詞, 関係副詞 where の非制限用法を用いた文の形・意味・用法を理解できる。</li> <li>色の心理的効果について、関係代名詞 (所有格), 同格を表す接続詞 that, 前置詞+関係代名詞, 関係副詞 where の非制限用法などの理解を基に、必要な情報、話・文章の展開や話し手・書き手の意図、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えたり、色の心理的効果を考慮した部屋の壁の色について、多様な語句や文を用いて、情報や自分の考えなどを論理性に注意して詳しく話したり書いたりして伝えることができる。</li> <li>色の心理的効果について、必要な情報、話・文章の展開や話し手・書き手の意図、概要や要点、詳細を捉えたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、色の心理的効果を考慮した部屋の壁の色について、情報や自分の考えなどを論理性に注意して詳しく話したり書いたりして伝えることができる。</li> </ul>	○	○		

12	<b>Unit 8</b> Powdered Natto Solves a Global Water Problem  < 2 学期期末考査 >	<ul style="list-style-type: none"> <li>・強調構文，強調の助動詞 do，直前の文を先行詞とする関係代名詞 which，to+have+過去分詞を用いた文の形・意味・用法を理解できる。</li> <li>・納豆パウダーの開発の経緯と汚水を浄化するしくみや，発展途上国への影響について，強調構文，強調の助動詞 do，直前の文を先行詞とする関係代名詞 which，to+have+過去分詞などの理解を基に，必要な情報，話・文章の展開や話し手・書き手の意図，概要や要点，詳細を目的に応じて捉えたり，納豆パウダーという製品の利点などについて，多様な語句や文を用いて，情報や自分の考えなどを論理性に注意して詳しく話したり書いたりして伝えることができる。</li> <li>・納豆パウダーの開発の経緯と汚水を浄化するしくみや，発展途上国への影響について，必要な情報，話・文章の展開や話し手・書き手の意図，概要や要点，詳細を捉えたり，聞いたり読んだりしたことを活用しながら，納豆パウダーという製品の利点などについて，情報や自分の考えなどを論理性に注意して詳しく話したり書いたりして伝えることができる。</li> </ul>	○	○	○	22
1	<b>Unit 9</b> Flying after Her Dreams	<ul style="list-style-type: none"> <li>・譲歩を表す副詞節，no matter how [where, when]，仮定法過去完了，分詞構文（過去分詞）を用いた文の形・意味・用法を理解できる。</li> <li>・黒人女性初のパイロットであるベシー・コールマンの経歴や人物像や夢について，譲歩を表す副詞節，no matter how [where, when]，仮定法過去完了，分詞構文（過去分詞）などの理解を基に，必要な情報，話・文章の展開や話し手・書き手の意図，概要や要点，詳細を目的に応じて捉えたり，1900年頃のアメリカにおける女性の専門職の就労について，多様な語句や文を用いて，情報や自分の考えなどを論理性に注意して詳しく話したり書いたりして伝えることができる。</li> <li>・黒人女性初のパイロットであるベシー・コールマンの経歴や人物像や夢について，必要な情報，話・文章の展開や話し手・書き手の意図，概要や要点，詳細を捉えたり，聞いたり読んだりしたことを活用しながら，1900年頃のアメリカにおける女性の専門職の就労について，情報や自分の考えなどを論理性に注意して詳しく話したり書いたりして伝えることができる。</li> </ul>	○	○	○	
2	<b>Unit 10</b> To Work or Not to Work?: Humans and Robots	<ul style="list-style-type: none"> <li>・過去完了進行形，be+to 不定詞，未来完了形，insist など+that+S+V [動詞の原形]を用いた文の形・意味・用法を理解できる。</li> <li>・各種のロボットやロボットの労働内容の変化について，過去完了進行形，be+to 不定詞，未来完了形，insist など+that+S+V [動詞の原形]などの理解を基に，必要な情報，話・文章の展開や話し手・書き手の意図，概要や要点，詳細を目的に応じて捉えたり，自分が考案した生活に役立つロボットの形状や機能などについて，多様な語句や文を用いて，情報や自分の考えなどを論理性に注意して詳しく話したり書いたりして伝えることができる。</li> <li>・各種のロボットやロボットの労働内容の変化について，必要な情報，話・文章の展開や話し手・書き手の意図，概要や要点，詳細を捉えたり，聞いたり読んだりしたことを活用しながら，自分が考案した生活に役立つロボットの形状や機能などについて，情報や自分の考えなどを論理性に注意して詳しく話したり書いたりして伝えることができる。</li> </ul>	○	○	○	18
3	< 学年末考査 >					

※学習状況により，進度・内容を変更することがあります。

英語 科 2 年 英語コミュニケーションⅡ 年間授業計画 (シラバス)

科目名	英語コミュニケーションⅡ	対象	進学文系	コース	単位数	4	単位
教科書	Power On English Communication II		出版社 東京書籍				
副教材	Power On English Communication II WORKBOOK WORDBOX 英単語・熟語 [Advanced] transfer 英語総合問題演習 B						

1 学習の到達目標

日常的・社会的な話題について、一定の支援を活用すれば、

- 必要な情報を聞き取り、話の展開や話し手の意図を把握したり、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えたりすることができる。
- 必要な情報を読み取り、文章の展開や書き手の意図を把握したり、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えたりすることができる。
- 多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを複数の文で詳しく話して伝え合うやり取りを続けたり、論理性に注意して複数の文で詳しく話して伝え合ったりすることができる。
- 多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して複数の文で詳しく話して伝えることができる。
- 多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して、複数の段落から成る文章で詳しく書いて伝えることができる。

2 評価の観点・内容・方法、及び成績評価の方法

①評価の観点・内容・方法

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどについて理解を深めている。</li> <li>外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。</li> </ul>	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。
評価の方法	定期考査 学力テスト 単元テスト 小テスト レポート 授業観察など	定期考査 学力テスト 単元テスト 小テスト レポート 授業観察など	学習課題 ワークシート レポート ノート 授業観察など

②成績評価の方法

①の評価の方法によって、学年末に評定にまとめます。

評価の内容 知識・技能 35%、思考・判断・表現 35%、主体的に学習に取り組む態度 30%

3 学習計画

※評価の観点：a（知識・技能）、b（思考・判断・表現）、c（主体的に学習に取り組む態度）

月	学 習 単 元	主 な 学 習 内 容 と 到 達 目 標	評価の観点			時間数
			a	b	c	
4	予習復習体験学習 <b>Unit 1</b> Play me, I'm Yours	<ul style="list-style-type: none"> <li>予習復習の体験学習をする。</li> <li>助動詞＋動詞の原形，受け身，S+V [be 動詞以外] +Cを用いた文の形・意味・用法を理解できる。</li> <li>日本や海外でのストリートピアノと人々・社会とのかかわりについて，助動詞＋動詞の原形，受け身，S+V [be 動詞以外] +Cなどの理解を基に，必要な情報，話し手・書き手の意図，概要や要点，詳細を目的に応じて捉えたり，ストリートピアノがどのような経緯で設置されたかについて，多様な語句や文を用いて，情報や自分の考えなどを詳しく話したり書いたりして伝えることができる。</li> <li>日本や海外でのストリートピアノと人々・社会とのかかわりについて，必要な情報，話し手・書き手の意図，概要や要点，詳細を捉えたり，聞いたり読んだりしたことを活用しながら，ストリートピアノがどのような経緯で設置されたかについて，情報や自分の考えなどを詳しく話したり書いたりして伝えることができる。</li> </ul>	○			20
5	<b>Unit 2</b> Ethical Fashion  < 1 学期中間考査 >	<ul style="list-style-type: none"> <li>S+V+O+C [形容詞]，S+V [使役] +O+C [原形不定詞]，S+V [知覚] +O+C [現在分詞，原形不定詞] を用いた文の形・意味・用法を理解できる。</li> <li>ファストファッションの背後にある問題やエシカルファッションについて，S+V+O+C [形容詞]，S+V [使役] +O+C [原形不定詞]，S+V [知覚] +O+C [現在分詞，原形不定詞] などの理解を基に，必要な情報，話し手・書き手の意図，概要や要点，詳細を目的に応じて捉えたり，自分の好きなファッションブランドのエシカルな活動について，多様な語句や文を用いて，情報や自分の考えなどを詳しく話したり書いたりして伝えることができる。</li> <li>ファストファッションの背後にある問題やエシカルファッションについて，必要な情報，話し手・書き手の意図，概要や要点，詳細を捉えたり，聞いたり読んだりしたことを活用しながら，自分の好きなファッションブランドのエシカルな活動について，情報や自分の考えなどを詳しく話したり書いたりして伝えることができる。</li> </ul>	○			
6	<b>Unit 3</b> One for All, All for One	<ul style="list-style-type: none"> <li>現在完了形，過去完了形，仮定法過去の if 節を用いた文の形・意味・用法を理解できる。</li> <li>ラグビー選手のマイケル・リーチ選手について，現在完了形，過去完了形，仮定法過去の if 節などの理解を基に，必要な情報，話し手・書き手の意図，概要や要点，詳細を目的に応じて捉えたり，自分の好きなスポーツ選手や有名人について，多様な語句や文を用いて，情報や自分の考えなどを詳しく話したり書いたりして伝えることができる。</li> <li>ラグビー選手のマイケル・リーチ選手について，必要な情報，話し手・書き手の意図，概要や要点，詳細を捉えたり，聞いたり読んだりしたことを活用しながら，自分の好きなスポーツ選手や有名人について，情報や自分の考えなどを詳しく話したり書いたりして伝えることができる。</li> </ul>	○			
7	<b>Unit 4</b> Vending Machines  < 1 学期期末考査 >	<ul style="list-style-type: none"> <li>関係代名詞（主格），関係代名詞の非制限用法，関係代名詞（目的格）を用いた文の形・意味・用法を理解できる。</li> <li>日本と海外の自動販売機について，関係代名詞（主格），関係代名詞の非制限用法，関係代名詞（目的格）などの理解を基に，必要な情報，話し手・書き手の意図，概要や要点，詳細を目的に応じて捉</li> </ul>	○			

9	<b>Unit 5</b> Design for Connecting Society: Braille Neue	<p>えたり、海外のユニークな自動販売機について、多様な語句や文を用いて、情報や自分の考えなどを詳しく話したり書いたりして伝えることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>日本と海外の自動販売機について、必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点、詳細を捉えたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、海外のユニークな自動販売機について、情報や自分の考えなどを詳しく話したり書いたりして伝えることができる。</li> <li>助動詞+受け身, S+V+C [分詞], S+V+O [if節], It seems [appears] +that節を用いた文の形・意味・用法を理解できる。</li> <li>ブレイルノイエの開発の経緯や利点と可能性について、助動詞+受け身, S+V+C [分詞], S+V+O [if節], It seems [appears] +that節などの理解を基に、必要な情報、話・文章の展開や話し手・書き手の意図、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えたり、ブレイルノイエの利点と活用方法について、多様な語句や文を用いて、情報や自分の考えなどを論理性に注意して詳しく話したり書いたりして伝えることができる。</li> <li>ブレイルノイエの開発の経緯や利点と可能性について、必要な情報、話・文章の展開や話し手・書き手の意図、概要や要点、詳細を捉えたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、ブレイルノイエの利点と活用方法について、情報や自分の考えなどを論理性に注意して詳しく話したり書いたりして伝えることができる。</li> </ul>	○	○		
10	<b>Unit 6</b> New Banknotes < 2学期中間考査 >	<ul style="list-style-type: none"> <li>It+is [was] +said+that節, 形式目的語 it と that節, 形式目的語 it と to 不定詞, 助動詞+have+過去分詞を用いた文の形・意味・用法を理解できる。</li> <li>新紙幣とキャッシュレス社会について, It+is [was] +said+that節, 形式目的語 it と that節, 形式目的語 it と to 不定詞, 助動詞+have+過去分詞などの理解を基に、必要な情報、話・文章の展開や話し手・書き手の意図、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えたり、キャッシュレス社会の長所・短所について、多様な語句や文を用いて、情報や自分の考えなどを論理性に注意して詳しく話したり書いたりして伝えることができる。</li> <li>新紙幣とキャッシュレス社会について、必要な情報、話・文章の展開や話し手・書き手の意図、概要や要点、詳細を捉えたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、キャッシュレス社会の長所・短所について、情報や自分の考えなどを論理性に注意して詳しく話したり書いたりして伝えることができる。</li> </ul>	○	○		25
11	<b>Unit 7</b> Some Secrets about Colors	<ul style="list-style-type: none"> <li>関係代名詞 (所有格), 同格を表す接続詞 that, 前置詞+関係代名詞, 関係副詞 where の非制限用法を用いた文の形・意味・用法を理解できる。</li> <li>色の心理的効果について、関係代名詞 (所有格), 同格を表す接続詞 that, 前置詞+関係代名詞, 関係副詞 where の非制限用法などの理解を基に、必要な情報、話・文章の展開や話し手・書き手の意図、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えたり、色の心理的効果を考慮した部屋の壁の色について、多様な語句や文を用いて、情報や自分の考えなどを論理性に注意して詳しく話したり書いたりして伝えることができる。</li> <li>色の心理的効果について、必要な情報、話・文章の展開や話し手・書き手の意図、概要や要点、詳細を捉えたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、色の心理的効果を考慮した部屋の壁の色について、情報や自分の考えなどを論理性に注意して詳しく話したり書いたりして伝えることができる。</li> </ul>	○	○		

12	<b>Unit 8</b> Powdered Natto Solves a Global Water Problem	<ul style="list-style-type: none"> <li>・強調構文，強調の助動詞 do，直前の文を先行詞とする関係代名詞 which，to+have+過去分詞を用いた文の形・意味・用法を理解できる。</li> <li>・納豆パウダーの開発の経緯と汚水を浄化するしくみや，発展途上国への影響について，強調構文，強調の助動詞 do，直前の文を先行詞とする関係代名詞 which，to+have+過去分詞などの理解を基に，必要な情報，話・文章の展開や話し手・書き手の意図，概要や要点，詳細を目的に応じて捉えたり，納豆パウダーという製品の利点などについて，多様な語句や文を用いて，情報や自分の考えなどを論理性に注意して詳しく話したり書いたりして伝えることができる。</li> <li>・納豆パウダーの開発の経緯と汚水を浄化するしくみや，発展途上国への影響について，必要な情報，話・文章の展開や話し手・書き手の意図，概要や要点，詳細を捉えたり，聞いたり読んだりしたことを活用しながら，納豆パウダーという製品の利点などについて，情報や自分の考えなどを論理性に注意して詳しく話したり書いたりして伝えることができる。</li> </ul>	○	○	○	30
1	<b>Unit 9</b> Flying after Her Dreams	<ul style="list-style-type: none"> <li>・譲歩を表す副詞節，no matter how [where, when]，仮定法過去完了，分詞構文（過去分詞）を用いた文の形・意味・用法を理解できる。</li> <li>・黒人女性初のパイロットであるベシー・コールマンの経歴や人物像や夢について，譲歩を表す副詞節，no matter how [where, when]，仮定法過去完了，分詞構文（過去分詞）などの理解を基に，必要な情報，話・文章の展開や話し手・書き手の意図，概要や要点，詳細を目的に応じて捉えたり，1900年頃のアメリカにおける女性の専門職の就労について，多様な語句や文を用いて，情報や自分の考えなどを論理性に注意して詳しく話したり書いたりして伝えることができる。</li> <li>・黒人女性初のパイロットであるベシー・コールマンの経歴や人物像や夢について，必要な情報，話・文章の展開や話し手・書き手の意図，概要や要点，詳細を捉えたり，聞いたり読んだりしたことを活用しながら，1900年頃のアメリカにおける女性の専門職の就労について，情報や自分の考えなどを論理性に注意して詳しく話したり書いたりして伝えることができる。</li> </ul>	○	○	○	
2	<b>Unit 10</b> To Work or Not to Work?: Humans and Robots	<ul style="list-style-type: none"> <li>・過去完了進行形，be+to 不定詞，未来完了形，insist など+that+S+V [動詞の原形]を用いた文の形・意味・用法を理解できる。</li> <li>・各種のロボットやロボットの労働内容の変化について，過去完了進行形，be+to 不定詞，未来完了形，insist など+that+S+V [動詞の原形]などの理解を基に，必要な情報，話・文章の展開や話し手・書き手の意図，概要や要点，詳細を目的に応じて捉えたり，自分が考案した生活に役立つロボットの形状や機能などについて，多様な語句や文を用いて，情報や自分の考えなどを論理性に注意して詳しく話したり書いたりして伝えることができる。</li> <li>・各種のロボットやロボットの労働内容の変化について，必要な情報，話・文章の展開や話し手・書き手の意図，概要や要点，詳細を捉えたり，聞いたり読んだりしたことを活用しながら，自分が考案した生活に役立つロボットの形状や機能などについて，情報や自分の考えなどを論理性に注意して詳しく話したり書いたりして伝えることができる。</li> </ul>	○	○	○	
3	<学年末考査>					25

※学習状況により，進度・内容を変更することがあります。

英語 科 2 年 英語コミュニケーションⅡ 年間授業計画 (シラバス)

科目名	英語コミュニケーションⅡ	対象	進学理系	コース	単位数	3	単位
教科書	Power On English Communication II		出版社 東京書籍				
副教材	Power On English Communication II WORKBOOK WORDBOX 英単語・熟語 [Advanced] transfer 英語総合問題演習 B						

1 学習の到達目標

日常的・社会的な話題について、一定の支援を活用すれば、

- 必要な情報を聞き取り、話の展開や話し手の意図を把握したり、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えたりすることができる。
- 必要な情報を読み取り、文章の展開や書き手の意図を把握したり、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えたりすることができる。
- 多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを複数の文で詳しく話して伝え合うやり取りを続けたり、論理性に注意して複数の文で詳しく話して伝え合ったりすることができる。
- 多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して複数の文で詳しく話して伝えることができる。
- 多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して、複数の段落から成る文章で詳しく書いて伝えることができる。

2 評価の観点・内容・方法、及び成績評価の方法

①評価の観点・内容・方法

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどについて理解を深めている。</li> <li>外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。</li> </ul>	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。
評価の方法	定期考査 学力テスト 単元テスト 小テスト レポート 授業観察など	定期考査 学力テスト 単元テスト 小テスト レポート 授業観察など	学習課題 ワークシート レポート ノート 授業観察など

②成績評価の方法

①の評価の方法によって、学年末に評定にまとめます。

評価の内容 知識・技能 35%、思考・判断・表現 35%、主体的に学習に取り組む態度 30%

3 学習計画

※評価の観点：a（知識・技能），b（思考・判断・表現），c（主体的に学習に取り組む態度）

月	学 習 単 元	主 な 学 習 内 容 と 到 達 目 標	評価の観点			時間数
			a	b	c	
4	予習復習体験学習 <b>Unit 1</b> Play me, I'm Yours	<ul style="list-style-type: none"> <li>予習復習の体験学習をする。</li> <li>助動詞＋動詞の原形，受け身，S+V [be 動詞以外] +Cを用いた文の形・意味・用法を理解できる。</li> <li>日本や海外でのストリートピアノと人々・社会とのかかわりについて，助動詞＋動詞の原形，受け身，S+V [be 動詞以外] +Cなどの理解を基に，必要な情報，話し手・書き手の意図，概要や要点，詳細を目的に応じて捉えたり，ストリートピアノがどのような経緯で設置されたかについて，多様な語句や文を用いて，情報や自分の考えなどを詳しく話したり書いたりして伝えることができる。</li> <li>日本や海外でのストリートピアノと人々・社会とのかかわりについて，必要な情報，話し手・書き手の意図，概要や要点，詳細を捉えたり，聞いたり読んだりしたことを活用しながら，ストリートピアノがどのような経緯で設置されたかについて，情報や自分の考えなどを詳しく話したり書いたりして伝えることができる。</li> </ul>	○			14
5	<b>Unit 2</b> Ethical Fashion  < 1 学期中間考査 >	<ul style="list-style-type: none"> <li>S+V+O+C [形容詞]，S+V [使役] +O+C [原形不定詞]，S+V [知覚] +O+C [現在分詞，原形不定詞] を用いた文の形・意味・用法を理解できる。</li> <li>ファストファッションの背後にある問題やエシカルファッションについて，S+V+O+C [形容詞]，S+V [使役] +O+C [原形不定詞]，S+V [知覚] +O+C [現在分詞，原形不定詞] などの理解を基に，必要な情報，話し手・書き手の意図，概要や要点，詳細を目的に応じて捉えたり，自分の好きなファッションブランドのエシカルな活動について，多様な語句や文を用いて，情報や自分の考えなどを詳しく話したり書いたりして伝えることができる。</li> <li>ファストファッションの背後にある問題やエシカルファッションについて，必要な情報，話し手・書き手の意図，概要や要点，詳細を捉えたり，聞いたり読んだりしたことを活用しながら，自分の好きなファッションブランドのエシカルな活動について，情報や自分の考えなどを詳しく話したり書いたりして伝えることができる。</li> </ul>	○			
6	<b>Unit 3</b> One for All, All for One	<ul style="list-style-type: none"> <li>現在完了形，過去完了形，仮定法過去の if 節を用いた文の形・意味・用法を理解できる。</li> <li>ラグビー選手のマイケル・リーチ選手について，現在完了形，過去完了形，仮定法過去の if 節などの理解を基に，必要な情報，話し手・書き手の意図，概要や要点，詳細を目的に応じて捉えたり，自分の好きなスポーツ選手や有名人について，多様な語句や文を用いて，情報や自分の考えなどを詳しく話したり書いたりして伝えることができる。</li> <li>ラグビー選手のマイケル・リーチ選手について，必要な情報，話し手・書き手の意図，概要や要点，詳細を捉えたり，聞いたり読んだりしたことを活用しながら，自分の好きなスポーツ選手や有名人について，情報や自分の考えなどを詳しく話したり書いたりして伝えることができる。</li> </ul>	○			
7	<b>Unit 4</b> Vending Machines  < 1 学期期末考査 >	<ul style="list-style-type: none"> <li>関係代名詞（主格），関係代名詞の非制限用法，関係代名詞（目的格）を用いた文の形・意味・用法を理解できる。</li> <li>日本と海外の自動販売機について，関係代名詞（主格），関係代名詞の非制限用法，関係代名詞（目的格）などの理解を基に，必要な情報，話し手・書き手の意図，概要や要点，詳細を目的に応じて捉</li> </ul>	○			

9	<b>Unit 5</b> Design for Connecting Society: Braille Neue	<p>えたり、海外のユニークな自動販売機について、多様な語句や文を用いて、情報や自分の考えなどを詳しく話したり書いたりして伝えることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>日本と海外の自動販売機について、必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点、詳細を捉えたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、海外のユニークな自動販売機について、情報や自分の考えなどを詳しく話したり書いたりして伝えることができる。</li> <li>助動詞+受け身, S+V+C [分詞], S+V+O [if節], It seems [appears] +that 節を用いた文の形・意味・用法を理解できる。</li> <li>ブレイルノイエの開発の経緯や利点と可能性について、助動詞+受け身, S+V+C [分詞], S+V+O [if節], It seems [appears] +that 節などの理解を基に、必要な情報、話・文章の展開や話し手・書き手の意図、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えたり、ブレイルノイエの利点と活用方法について、多様な語句や文を用いて、情報や自分の考えなどを論理性に注意して詳しく話したり書いたりして伝えることができる。</li> <li>ブレイルノイエの開発の経緯や利点と可能性について、必要な情報、話・文章の展開や話し手・書き手の意図、概要や要点、詳細を捉えたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、ブレイルノイエの利点と活用方法について、情報や自分の考えなどを論理性に注意して詳しく話したり書いたりして伝えることができる。</li> </ul>	○	○		
10	<b>Unit 6</b> New Banknotes < 2学期中間考査 >	<ul style="list-style-type: none"> <li>It+is [was] +said+that 節, 形式目的語 it と that 節, 形式目的語 it と to 不定詞, 助動詞+have+過去分詞を用いた文の形・意味・用法を理解できる。</li> <li>新紙幣とキャッシュレス社会について, It+is [was] +said+that 節, 形式目的語 it と that 節, 形式目的語 it と to 不定詞, 助動詞+have+過去分詞などの理解を基に、必要な情報、話・文章の展開や話し手・書き手の意図、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えたり、キャッシュレス社会の長所・短所について、多様な語句や文を用いて、情報や自分の考えなどを論理性に注意して詳しく話したり書いたりして伝えることができる。</li> <li>新紙幣とキャッシュレス社会について、必要な情報、話・文章の展開や話し手・書き手の意図、概要や要点、詳細を捉えたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、キャッシュレス社会の長所・短所について、情報や自分の考えなどを論理性に注意して詳しく話したり書いたりして伝えることができる。</li> </ul>	○	○		22
11	<b>Unit 7</b> Some Secrets about Colors	<ul style="list-style-type: none"> <li>関係代名詞 (所有格), 同格を表す接続詞 that, 前置詞+関係代名詞, 関係副詞 where の非制限用法を用いた文の形・意味・用法を理解できる。</li> <li>色の心理的効果について、関係代名詞 (所有格), 同格を表す接続詞 that, 前置詞+関係代名詞, 関係副詞 where の非制限用法などの理解を基に、必要な情報、話・文章の展開や話し手・書き手の意図、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えたり、色の心理的効果を考慮した部屋の壁の色について、多様な語句や文を用いて、情報や自分の考えなどを論理性に注意して詳しく話したり書いたりして伝えることができる。</li> <li>色の心理的効果について、必要な情報、話・文章の展開や話し手・書き手の意図、概要や要点、詳細を捉えたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、色の心理的効果を考慮した部屋の壁の色について、情報や自分の考えなどを論理性に注意して詳しく話したり書いたりして伝えることができる。</li> </ul>	○	○		

12	<b>Unit 8</b> Powdered Natto Solves a Global Water Problem  <2学期期末考査>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・強調構文，強調の助動詞 do，直前の文を先行詞とする関係代名詞 which，to+have+過去分詞を用いた文の形・意味・用法を理解できる。</li> <li>・納豆パウダーの開発の経緯と汚水を浄化するしくみや，発展途上国への影響について，強調構文，強調の助動詞 do，直前の文を先行詞とする関係代名詞 which，to+have+過去分詞などの理解を基に，必要な情報，話・文章の展開や話し手・書き手の意図，概要や要点，詳細を目的に応じて捉えたり，納豆パウダーという製品の利点などについて，多様な語句や文を用いて，情報や自分の考えなどを論理性に注意して詳しく話したり書いたりして伝えることができる。</li> <li>・納豆パウダーの開発の経緯と汚水を浄化するしくみや，発展途上国への影響について，必要な情報，話・文章の展開や話し手・書き手の意図，概要や要点，詳細を捉えたり，聞いたり読んだりしたことを活用しながら，納豆パウダーという製品の利点などについて，情報や自分の考えなどを論理性に注意して詳しく話したり書いたりして伝えることができる。</li> </ul>	○	○	○	22
1	<b>Unit 9</b> Flying after Her Dreams	<ul style="list-style-type: none"> <li>・譲歩を表す副詞節，no matter how [where, when]，仮定法過去完了，分詞構文（過去分詞）を用いた文の形・意味・用法を理解できる。</li> <li>・黒人女性初のパイロットであるベシー・コールマンの経歴や人物像や夢について，譲歩を表す副詞節，no matter how [where, when]，仮定法過去完了，分詞構文（過去分詞）などの理解を基に，必要な情報，話・文章の展開や話し手・書き手の意図，概要や要点，詳細を目的に応じて捉えたり，1900年頃のアメリカにおける女性の専門職の就労について，多様な語句や文を用いて，情報や自分の考えなどを論理性に注意して詳しく話したり書いたりして伝えることができる。</li> <li>・黒人女性初のパイロットであるベシー・コールマンの経歴や人物像や夢について，必要な情報，話・文章の展開や話し手・書き手の意図，概要や要点，詳細を捉えたり，聞いたり読んだりしたことを活用しながら，1900年頃のアメリカにおける女性の専門職の就労について，情報や自分の考えなどを論理性に注意して詳しく話したり書いたりして伝えることができる。</li> </ul>	○	○	○	
2	<b>Unit 10</b> To Work or Not to Work?: Humans and Robots	<ul style="list-style-type: none"> <li>・過去完了進行形，be+to 不定詞，未来完了形，insist など+that+S+V [動詞の原形]を用いた文の形・意味・用法を理解できる。</li> <li>・各種のロボットやロボットの労働内容の変化について，過去完了進行形，be+to 不定詞，未来完了形，insist など+that+S+V [動詞の原形]などの理解を基に，必要な情報，話・文章の展開や話し手・書き手の意図，概要や要点，詳細を目的に応じて捉えたり，自分が考案した生活に役立つロボットの形状や機能などについて，多様な語句や文を用いて，情報や自分の考えなどを論理性に注意して詳しく話したり書いたりして伝えることができる。</li> <li>・各種のロボットやロボットの労働内容の変化について，必要な情報，話・文章の展開や話し手・書き手の意図，概要や要点，詳細を捉えたり，聞いたり読んだりしたことを活用しながら，自分が考案した生活に役立つロボットの形状や機能などについて，情報や自分の考えなどを論理性に注意して詳しく話したり書いたりして伝えることができる。</li> </ul>	○	○	○	18
3	<学年末考査>					

※学習状況により，進度・内容を変更することがあります。

## 英語 科 2 年 英語コミュニケーションⅡ 年間授業計画 (シラバス)

科目名	英語コミュニケーションⅡ	対象	特進	コース	単位数	4	単位
教科書	ENRICH LEARNING English Communication II 出版社 東京書籍						
副教材	ENRICH LEARNING English Communication II 本文学習ノート ENRICH LEARNING English Communication II WORKBOOK システム英単語[5訂版] transfer 英語総合問題演習 C transfer 英語総合問題演習 D						

### 1 学習の到達目標

<p>日常的・社会的な話題について、一定の支援を活用すれば、</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 必要な情報を聞き取り、話し手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。</li> <li>2. 必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。</li> <li>3. 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合うやり取りを続けたり、論理性に注意して話して伝え合ったりすることができる。</li> <li>4. 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝えることができる。</li> <li>5. 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して文章を書いて伝えることができる。</li> </ol>
---

### 2 評価の観点・内容・方法、及び成績評価の方法

#### ①評価の観点・内容・方法

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどについて理解を深めている。</li> <li>・ 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。</li> </ul>	<p>コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。</p>	<p>外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。</p>
評価の方法	定期考査 学力テスト 単元テスト 小テスト レポート 授業観察など	定期考査 学力テスト 単元テスト 小テスト レポート 授業観察など	学習課題 ワークシート レポート ノート 授業観察など

#### ②成績評価の方法

①の評価の方法によって、学年末に評定にまとめます。

評価の内容 知識・技能 35%，思考・判断・表現 35%，主体的に学習に取り組む態度 30%

3 学習計画

※評価の観点：a（知識・技能）、b（思考・判断・表現）、c（主体的に学習に取り組む態度）

月	学 習 単 元	主な学習内容と到達目標	評価の観点			時間数
			a	b	c	
4	予習復習体験学習 <b>Unit 1</b> What can we do to prevent endemic species from becoming extinct?	<ul style="list-style-type: none"> <li>予習復習の体験学習をする。</li> <li>助動詞＋完了形，不定詞の意味上の主語を用いた文の形・意味・用法を理解できる。</li> <li>絶滅危惧種の生息地や見た目の特徴などについて説明するための適切な表現や方法を理解できる。</li> <li>特定の絶滅危惧種について，参照した情報を基に，生息地や見た目の特徴などを話して伝えることができる。</li> <li>特定の絶滅危惧種について知ってもらうために，参照した情報を基に，生息地や見た目の特徴などといった重要な点を簡潔に整理して，聞き手にわかりやすく詳細を話して伝えることができる。</li> </ul>	○			20
5	<b>Unit 2</b> Which sports can really be called sports? < 1 学期中間考査 >	<ul style="list-style-type: none"> <li>受け身の不定詞，助動詞 do による強調を用いた文の形・意味・用法を理解できる。</li> <li>興味を示したり断ったり，主張と根拠を伝え合ったりするための適切な表現や方法を理解できる。</li> <li>部活動について興味を示したり断ったり，e スポーツをスポーツとみなすかについて主張と根拠を伝え合ったりしながら，自分の考えを即興で話して伝え合うことができる。</li> <li>部活動についての勧誘の場面で興味を示したり断ったり，ディベートの場面で，e スポーツをスポーツとみなすかについて主張と根拠を伝え合ったりしながら，自分の考えを即興で話して，詳細を伝え合うことができる。</li> </ul>	○	○	○	
6	<b>Unit 3</b> How do we choose what we eat?	<ul style="list-style-type: none"> <li>先行詞を含む関係副詞，否定語の倒置を用いた文の形・意味・用法を理解できる。</li> <li>レストランのレビューで用いられる語いや表現，評価づけしたり，感想を述べたりする適切な方法を理解できる。</li> <li>レストランをお勧めするかどうかについて，自分の体験・経験を基に，情報を伝えたり評価づけしたり，感想を述べたりしながら，詳細を書くことができる。</li> <li>友達にレストランを紹介するために，お勧めするかどうかについて，自分の体験・経験を基に，情報を伝えたり評価づけしたり，感想を述べたりしながら，事実と意見を区別して，詳細を整理して書くことができる。</li> </ul>	○		○	

7	<p><b>Unit 4</b> How have inventions changed history?</p> <p>&lt; 1 学期期末考査 &gt;</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・強調構文，関係副詞の非制限用法を用いた文の形・意味・用法を理解できる。</li> <li>・発明品について，事実と意見を説明するための適切な表現や方法を理解できる。</li> <li>・発明品の世の中への影響について，見聞した情報を基に，事実と意見を区別しながら話して伝えることができる</li> <li>・友達にレストランを紹介するために，お勧めするかどうかについて，自分の体験・経験を基に，情報を伝えたり評価づけしたり，感想を述べたりしながら，事実と意見を区別して，詳細を整理して書くことができる。</li> </ul>	○	○	○	25
9	<p><b>Unit 5</b> What can we learn from traveling?</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・接続詞＋分詞，完了不定詞を用いた文の形・意味・用法を理解できる。</li> <li>・利点と欠点を踏まえたうえで，自分の意見を書くための適切な方法を理解できる。</li> <li>・ギャップ・イヤーの普及について，利点と欠点を踏まえたうえで，つなぎ言葉を用いながら，自分の意見を複数のパラグラフで書くことができる。</li> <li>・ギャップ・イヤーの普及について，自分の意見を伝えるために，利点と欠点を踏まえたうえで，つなぎ言葉を用いながら，構成を意識して，複数のパラグラフで論理的に書くことができる。</li> </ul>	○	○	○	
10	<p><b>Unit 6</b> How do people's personalities affect their behavior?</p> <p>&lt; 2 学期中間考査 &gt;</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・部分否定を用いた文の形・意味・用法を理解できる。</li> <li>・アンケート結果について，分析結果を伝えるための適切な表現や方法を理解できる。</li> <li>・性格に関するアンケートについて，クラスメートの回答結果を基に，割合を表したり解釈を付け加えたりして，話して伝えることができる。</li> <li>・プレゼンテーションの場面で，性格に関するアンケートについて，クラスメートの回答結果を基に，割合を表したり解釈を付け加えたりして，詳細を簡潔に整理して聞き手にわかりやすく話して伝えることができる。</li> </ul>	○	○	○	25
11	<p><b>Unit 7</b> Who should we celebrate on our money?</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受け身の進行形，be 動詞＋不定詞を用いた文の形・意味・用法を理解できる。</li> <li>・相手の意見に応じるための適切な表現や方法を理解できる。</li> <li>・紙幣に取り上げるべき人物について，相手の意見に適切に応じながら，自分の考えを即興で話して伝え合うことができる。</li> <li>・紙幣に取り上げるべき人物について，グループの意見をまとめるために，相手の意見に適切に応じ</li> </ul>	○	○	○	

12	<b>Unit 8</b> How can we find out if news is real or fake?  < 2 学期期末考査 >	ながら、自分の考えを即興で話し、詳細を伝え合うことができる。 ・複合関係副詞を用いた文の形・意味・用法を理解できる。 ・事実と意見を分けて伝えるための適切な表現や方法を理解できる。 ・ある記事を読んで分析した内容について、事実と意見を区別しながら、情報や自分の考えを即興で話して伝え合うことができる。 ・ニュースの真偽を判断するために、ある記事を読んで分析した内容について、事実と意見を区別しながら、情報や自分の考えを即興で話して、詳細を伝え合うことができる。	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	30
1	<b>Unit 9</b> What is important when choosing a job?	・過去の習慣を表す表現を用いた文の形・意味・用法を理解できる。 ・長所や経験を伝え合ったり、情報を詳しく聞き出したりするための適切な表現や方法を理解できる。 ・仕事をするうえでの長所や経験について、情報や自分の考えを即興で話して伝え合うことができる。 ・就職面接を想定した場面で、仕事をするうえでの長所や経験について、情報や自分の考え、評価を即興で話して、詳細を伝え合っている。	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	
2	<b>Unit 10</b> How can we improve our school?	・未来進行形、未来完了形を用いた文の形・意味・用法を理解できる。 ・自分の考えを理由とともに伝え合うための適切な表現や方法を理解できる。 ・学校の改善について、自分の考えを理由とともに、即興で話して伝え合うことができる。 ・学校の改善について互いの意見を共有するために、自分の考えを理由とともに、即興で話して詳細を伝え合うことができる。	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	
3	< 学年末考査 >					25

※学習状況により、進度・内容を変更することがあります。

英語科 2年		論理・表現Ⅱ		年間授業計画（シラバス）	
科目名	論理・表現Ⅱ	対象	スポーツ	コース	単位数 2 単位
教科書	FACTBOOK English Logic and Expression Ⅱ		出版社	桐原書店	
副教材	FACTBOOK English Logic and Expression Ⅱ WORKBOOK <Essential>				

### 1 学習の到達目標

- ① 日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、一定の支援を活用すれば、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理の構成や展開を工夫して複数の段落から成る文章で詳しく書いて伝えることができる。
- ② 日常的な話題や社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、一定の支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、多様な語句や文を用いて、意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して複数の段落から成る文章で詳しく書いて伝えることができる。

### 2 評価の観点・趣旨・方法、成績評価の方法

#### ①評価の観点・趣旨・方法

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の意見や主張を伝えるために必要となる論理の構成や展開及び表現等を理解している。</li> <li>授業形態について、自分の意見や主張を、論理の構成や展開を工夫して詳しく書く技能を身に付けている。</li> </ul>	読み手によく理解してもらえるように、授業形態による効果の違いについて、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、自分の意見や主張を、論理の構成や展開を工夫して複数の段落を用いて詳しく書いて伝えている。	読み手によく理解してもらえるように、授業形態による効果の違いについて、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、自分の意見や主張を、論理の構成や展開を工夫して、複数の段落を用いて詳しく書いて伝えようとしている。
評価の方法	学習活動への姿勢 ノートプリント 定期考査	学習活動への姿勢 ノートプリント 定期考査	学習活動への姿勢 ノートプリント 課題提出

#### ②成績評価の方法

①の評価の方法によって、学年末に評定にまとめます。

評価の内容 知識・技能 35%，思考・判断・表現 35%，主体的に学習に取り組む態度 30%

### 3 学習計画

※評価の観点：a（知識・技能），b（思考・判断・表現），c（主体的に学習に取り組む態度）

月	学習単元	主な学習内容と到達目標	評価の観点			時間数
			a	b	c	
4	予習復習体験学習 <b>Unit 1</b> How should we lead a healthy lifestyle?	<ul style="list-style-type: none"> <li>主語（無生物主語を含む）について理解し、適切に使うことができる。</li> <li>健康の問題や健康のための習慣について自分の意見を述べることができる。</li> <li>砂糖税の導入について意見文を書くことができる。</li> </ul>	○		○	4
5	<b>Unit 2</b> Steps we can take to Zero Hunger	<ul style="list-style-type: none"> <li>目的語や補語の拡張について理解し、適切に使うことができる。</li> <li>飢餓を解決する方法について議論することができる。</li> <li>食料寄付について、パートナーと短い会話をするることができる。</li> </ul>	○		○	5

	< 1 学期中間考査 >					
6	<b>Unit 3</b> What are good and bad sides of urbanization?	<ul style="list-style-type: none"> <li>・名詞の説明（前置詞句・分詞・to 不定詞，節）について理解し，適切に使うことができる。</li> <li>・大都市で起きている問題について議論することができる。</li> <li>・都市化が及ぼす影響について意見文を書くことができる。</li> </ul>	○	○	○	8
7	<b>Unit 4</b> Is your city sustainable enough?	<ul style="list-style-type: none"> <li>・動詞句の説明，文の説明，レポート文について理解し，適切に使うことができる。</li> <li>・都市問題について聞いた情報をもとに説明することができる。</li> <li>・自分の住む地域の自治体に要望について議論したり書いたりすることができる。</li> </ul>	○	○	○	2
	< 1 学期期末考査 >					
8	<b>Unit 5</b> Water supporting our lives	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進行形，完了形の表す意味や時制の一致について理解し，適切に使うことができる。</li> <li>・日本文化における自然物への信仰や野生生物保護公園の成功事例について，話し合うことができる。</li> <li>・環境保護のあり方について意見を述べたり書いたりすることができる。</li> </ul>	○	○	○	1 6
10	<b>Unit 6</b> How to live a plastic-free life	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受動態について理解し，適切に使うことができる。</li> <li>・プラスチックパッケージの廃棄やその代替素材について議論することができる。</li> <li>・プラスチックごみ削減を促進する企画を提案するメールを書くことができる。</li> </ul>	○	○	○	7
	< 2 学期中間考査 >					
11	<b>Unit 7</b> How can we become more health-conscious?	<ul style="list-style-type: none"> <li>・助動詞を使ったさまざまな表現や仮定法が使われる表現について理解し，適切に使うことができる。</li> <li>・海外でのボランティア活動や NGO の活動について情報を共有しながら議論することができる。</li> <li>・海外の国際機関で働きたいかどうかについて意見文を書くことができる。</li> </ul>	○	○	○	8
12	<b>Unit 8</b> Challenges to equality	<ul style="list-style-type: none"> <li>・原級，比較級，最上級を用いた比較表現について理解し，適切に使うことができる。</li> <li>・育児についてや女性のクォータ制が必要かどうかについて議論することができる。</li> <li>・ジェンダー平等について聞いた情報をもとに説明したり意見を述べたりすることができる。</li> </ul>	○	○	○	3
	< 2 学期期末考査 >					
1	<b>Unit 9</b> Produce locally, consume locally	<ul style="list-style-type: none"> <li>・強調表現，倒置表現，代用・省略・同格・挿入の表現，話法について理解し，適切に使うことができる。</li> <li>・地産の食品を食べることについて，パートナーと短い会話をすることができる。</li> </ul>	○	○	○	5
2		<ul style="list-style-type: none"> <li>・地産地消について意見文を述べるることができる。</li> </ul>			○	8
	<b>Unit 10</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・否定を表す表現（部分否定や準否定表現を含む）について理解</li> </ul>	○	○		

3	Sharing as one way to create new value  <学年末考査>	し、適切に使うことができる。 ・シェアリングエコノミーについて、シェアハウスなどの事例をもとに議論することができる。 ・学校で始めてほしいシェアリングサービスについての要望書を書くことができる。		○ ○	○ ○	2
---	---	---	--	--------	--------	---

※学習状況により、進度・内容を変更することがあります。

英語科 2年		論理・表現Ⅱ		年間授業計画（シラバス）		
科目名	論理・表現Ⅱ	対象	進学	コース	単位数	2 単位
教科書	FACTBOOK English Logic and Expression Ⅱ			出版社	桐原書店	
副教材	FACTBOOK English Logic and Expression Ⅱ WORKBOOK <Essential>					

## 1 学習の到達目標

- ① 日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、一定の支援を活用すれば、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理の構成や展開を工夫して複数の段落から成る文章で詳しく書いて伝えることができる。
- ② 日常的な話題や社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、一定の支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、多様な語句や文を用いて、意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して複数の段落から成る文章で詳しく書いて伝えることができる。

## 2 評価の観点・趣旨・方法、成績評価の方法

### ①評価の観点・趣旨・方法

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の意見や主張を伝えるために必要となる論理の構成や展開及び表現等を理解している。</li> <li>授業形態について、自分の意見や主張を、論理の構成や展開を工夫して詳しく書く技能を身に付けている。</li> </ul>	読み手によく理解してもらえるように、授業形態による効果の違いについて、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、自分の意見や主張を、論理の構成や展開を工夫して複数の段落を用いて詳しく書いて伝えている。	読み手によく理解してもらえるように、授業形態による効果の違いについて、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、自分の意見や主張を、論理の構成や展開を工夫して、複数の段落を用いて詳しく書いて伝えようとしている。
評価の方法	学習活動への姿勢 ノートプリント 定期考査	学習活動への姿勢 ノートプリント 定期考査	学習活動への姿勢 ノートプリント 課題提出

### ②成績評価の方法

①の評価の方法によって、学年末に評定にまとめます。

評価の内容 知識・技能 35%，思考・判断・表現 35%，主体的に学習に取り組む態度 30%

## 3 学習計画

※評価の観点：a（知識・技能），b（思考・判断・表現），c（主体的に学習に取り組む態度）

月	学習単元	主な学習内容と到達目標	評価の観点			時間数
			a	b	c	
4	予習復習体験学習 <b>Unit 1</b> How should we lead a healthy lifestyle?	<ul style="list-style-type: none"> <li>主語（無生物主語を含む）について理解し、適切に使うことができる。</li> <li>健康の問題や健康のための習慣について自分の意見を述べることができる。</li> <li>砂糖税の導入について意見文を書くことができる。</li> </ul>	○		○	4
5	<b>Unit 2</b> Steps we can take to Zero Hunger	<ul style="list-style-type: none"> <li>目的語や補語の拡張について理解し、適切に使うことができる。</li> <li>飢餓を解決する方法について議論することができる。</li> <li>食料寄付について、パートナーと短い会話をするることができる。</li> </ul>	○		○	5

	< 1 学期中間考査 >					
6	<b>Unit 3</b> What are good and bad sides of urbanization?	<ul style="list-style-type: none"> <li>・名詞の説明（前置詞句・分詞・to 不定詞，節）について理解し，適切に使うことができる。</li> <li>・大都市で起きている問題について議論することができる。</li> <li>・都市化が及ぼす影響について意見文を書くことができる。</li> </ul>	○		○	8
7	<b>Unit 4</b> Is your city sustainable enough?	<ul style="list-style-type: none"> <li>・動詞句の説明，文の説明，レポート文について理解し，適切に使うことができる。</li> <li>・都市問題について聞いた情報をもとに説明することができる。</li> <li>・自分の住む地域の自治体に要望について議論したり書いたりすることができる。</li> </ul>	○		○	2
	< 1 学期期末考査 >					
8	<b>Unit 5</b> Water supporting our lives	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進行形，完了形の表す意味や時制の一致について理解し，適切に使うことができる。</li> <li>・日本文化における自然物への信仰や野生生物保護公園の成功事例について，話し合うことができる。</li> <li>・環境保護のあり方について意見を述べたり書いたりすることができる。</li> </ul>	○		○	1
9					○	6
10	<b>Unit 6</b> How to live a plastic-free life	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受動態について理解し，適切に使うことができる。</li> <li>・プラスチックパッケージの廃棄やその代替素材について議論することができる。</li> <li>・プラスチックごみ削減を促進する企画を提案するメールを書くことができる。</li> </ul>	○		○	7
	< 2 学期中間考査 >					
11	<b>Unit 7</b> How can we become more health-conscious?	<ul style="list-style-type: none"> <li>・助動詞を使ったさまざまな表現や仮定法が使われる表現について理解し，適切に使うことができる。</li> <li>・海外でのボランティア活動や NGO の活動について情報を共有しながら議論することができる。</li> <li>・海外の国際機関で働きたいかどうかについて意見文を書くことができる。</li> </ul>	○		○	8
12	<b>Unit 8</b> Challenges to equality	<ul style="list-style-type: none"> <li>・原級，比較級，最上級を用いた比較表現について理解し，適切に使うことができる。</li> <li>・育児についてや女性のクォータ制が必要かどうかについて議論することができる。</li> <li>・ジェンダー平等について聞いた情報をもとに説明したり意見を述べたりすることができる。</li> </ul>	○		○	3
	< 2 学期期末考査 >					
1	<b>Unit 9</b> Produce locally, consume locally	<ul style="list-style-type: none"> <li>・強調表現，倒置表現，代用・省略・同格・挿入の表現，話法について理解し，適切に使うことができる。</li> <li>・地産の食品を食べることについて，パートナーと短い会話をすることができる。</li> </ul>	○		○	5
2		<ul style="list-style-type: none"> <li>・地産地消について意見文を述べるることができる。</li> </ul>			○	8
	<b>Unit 10</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・否定を表す表現（部分否定や準否定表現を含む）について理解</li> </ul>	○		○	

3	<p>Sharing as one way to create new value</p> <p>&lt;学年末考査&gt;</p>	<p>し、適切に使うことができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・シェアリングエコノミーについて、シェアハウスなどの事例をもとに議論することができる。</li> <li>・学校で始めてほしいシェアリングサービスについての要望書を書くことができる。</li> </ul>		○	○	2
---	--	---	--	---	---	---

※学習状況により、進度・内容を変更することがあります。

英語科 2年		論理・表現Ⅱ		年間授業計画（シラバス）		
科目名	論理・表現Ⅱ	対象	特進	コース	単位数	2 単位
教科書	FACTBOOK English Logic and Expression Ⅱ			出版社	桐原書店	
副教材	FACTBOOK English Logic and Expression Ⅱ WORKBOOK <Mastery>					

### 1 学習の到達目標

- ① 日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、一定の支援を活用すれば、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理の構成や展開を工夫して複数の段落から成る文章で詳しく書いて伝えることができる。
- ② 日常的な話題や社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、一定の支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、多様な語句や文を用いて、意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して複数の段落から成る文章で詳しく書いて伝えることができるよ。

### 2 評価の観点・趣旨・方法、成績評価の方法

#### ①評価の観点・趣旨・方法

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の意見や主張を伝えるために必要となる論理の構成や展開及び表現等を理解している。</li> <li>授業形態について、自分の意見や主張を、論理の構成や展開を工夫して詳しく書く技能を身に付けている。</li> </ul>	読み手によく理解してもらえるように、授業形態による効果の違いについて、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、自分の意見や主張を、論理の構成や展開を工夫して複数の段落を用いて詳しく書いて伝えている。	読み手によく理解してもらえるように、授業形態による効果の違いについて、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、自分の意見や主張を、論理の構成や展開を工夫して、複数の段落を用いて詳しく書いて伝えようとしている。
評価の方法	学習活動への姿勢 ノートプリント 定期考査	学習活動への姿勢 ノートプリント 定期考査	学習活動への姿勢 ノートプリント 課題提出

#### ②成績評価の方法

①の評価の方法によって、学年末に評定にまとめます。

評価の内容 知識・技能 35%，思考・判断・表現 35%，主体的に学習に取り組む態度 30%

### 3 学習計画

※評価の観点：a（知識・技能），b（思考・判断・表現），c（主体的に学習に取り組む態度）

月	学習単元	主な学習内容と到達目標	評価の観点			時間数
			a	b	c	
4	予習復習体験学習 <b>Unit 1</b> How should we lead a healthy lifestyle?	<ul style="list-style-type: none"> <li>主語（無生物主語を含む）について理解し、適切に使うことができる。</li> <li>健康の問題や健康のための習慣について自分の意見を述べることができる。</li> <li>砂糖税の導入について意見文を書くことができる。</li> </ul>	○		○	4
5	<b>Unit 2</b> Steps we can take to Zero Hunger	<ul style="list-style-type: none"> <li>目的語や補語の拡張について理解し、適切に使うことができる。</li> <li>飢餓を解決する方法について議論することができる。</li> <li>食料寄付について、パートナーと短い会話をするることができる。</li> </ul>	○		○	5

	< 1 学期中間考査 >					
6	<b>Unit 3</b> What are good and bad sides of urbanization?	<ul style="list-style-type: none"> <li>・名詞の説明（前置詞句・分詞・to 不定詞，節）について理解し，適切に使うことができる。</li> <li>・大都市で起きている問題について議論することができる。</li> <li>・都市化が及ぼす影響について意見文を書くことができる。</li> </ul>	○		○	
7	<b>Unit 4</b> Is your city sustainable enough?	<ul style="list-style-type: none"> <li>・動詞句の説明，文の説明，レポート文について理解し，適切に使うことができる。</li> <li>・都市問題について聞いた情報をもとに説明することができる。</li> <li>・自分の住む地域の自治体に要望について議論したり書いたりすることができる。</li> </ul>	○		○	8
	< 1 学期期末考査 >					
8	<b>Unit 5</b> Water supporting our lives	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進行形，完了形の表す意味や時制の一致について理解し，適切に使うことができる。</li> <li>・日本文化における自然物への信仰や野生生物保護公園の成功事例について，話し合うことができる。</li> <li>・環境保護のあり方について意見を述べたり書いたりすることができる。</li> </ul>	○		○	1
9					○	6
10	<b>Unit 6</b> How to live a plastic-free life	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受動態について理解し，適切に使うことができる。</li> <li>・プラスチックパッケージの廃棄やその代替素材について議論することができる。</li> <li>・プラスチックごみ削減を促進する企画を提案するメールを書くことができる。</li> </ul>	○		○	7
	< 2 学期中間考査 >					
11	<b>Unit 7</b> How can we become more health-conscious?	<ul style="list-style-type: none"> <li>・助動詞を使ったさまざまな表現や仮定法が使われる表現について理解し，適切に使うことができる。</li> <li>・海外でのボランティア活動や NGO の活動について情報を共有しながら議論することができる。</li> <li>・海外の国際機関で働きたいかどうかについて意見文を書くことができる。</li> </ul>	○		○	8
12	<b>Unit 8</b> Challenges to equality	<ul style="list-style-type: none"> <li>・原級，比較級，最上級を用いた比較表現について理解し，適切に使うことができる。</li> <li>・育児についてや女性のクオータ制が必要かどうかについて議論することができる。</li> <li>・ジェンダー平等について聞いた情報をもとに説明したり意見を述べたりすることができる。</li> </ul>	○		○	3
	< 2 学期期末考査 >					
1	<b>Unit 9</b> Produce locally, consume locally	<ul style="list-style-type: none"> <li>・強調表現，倒置表現，代用・省略・同格・挿入の表現，話法について理解し，適切に使うことができる。</li> <li>・地産の食品を食べることについて，パートナーと短い会話をすることができる。</li> </ul>	○		○	5
2		<ul style="list-style-type: none"> <li>・地産地消について意見文を述べるることができる。</li> </ul>			○	8
	<b>Unit 10</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・否定を表す表現（部分否定や準否定表現を含む）について理解</li> </ul>	○		○	

3	<p>Sharing as one way to create new value</p> <p>&lt;学年末考査&gt;</p>	<p>し、適切に使うことができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・シェアリングエコノミーについて、シェアハウスなどの事例をもとに議論することができる。</li> <li>・学校で始めてほしいシェアリングサービスについての要望書を書くことができる。</li> </ul>		○	○	2
---	--	---	--	---	---	---

※学習状況により、進度・内容を変更することがあります。

英語科 3年		コミュニケーション英語Ⅲ		年間授業計画 (シラバス)	
科目名	コミュニケーション英語Ⅲ	対象	スポーツ	コース	単位数 4 単位
教科書	Power On Communication III		出版社	東京書籍	
副教材	Power On Communication III Workbook				

## 1 学習の到達目標

① 英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。
② 情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする基礎的な能力を身につけ、社会生活において活用する。

## 2 評価の観点・趣旨・方法、成績評価の方法

### ① 評価の観点・趣旨・方法

評価の観点	関心・意欲・態度	表現の能力	理解の能力	知識・理解
評価の内容	コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする。	英語で話したり書いたりして、情報や考えなどを適切に伝えている。	英語を聞いたり読んだりして、情報や考えなどを的確に理解している。	英語やその運用についての知識を身に付けているとともに、言語の背景にある文化などを理解している。
評価の方法	学習活動への姿勢 ノートプリント 課題提出	学習活動への姿勢 ノートプリント 定期考査	学習活動への姿勢 ノートプリント 定期考査	学習活動への姿勢 ノートプリント 定期考査

### ② 成績評価の方法

① の評価の方法によって、学年末にまとめます。

評価の内容 定期考査 8割 平常点 (学習態度・小テスト・課題など) 2割

## 3 学習計画

月	学習単元	主な学習内容と到達目標	時間数
4月	予習復習体験学習	学習の仕方を理解する。	1
5月	Lesson 1 Emoji as a Universal "Language" 絵文字	絵文字がどのように使われるようになっているかについて理解する。	8
	Lesson 2 How Was the Olympic Symbol Created? オリンピックのシンボル	オリンピックの旗の意味について理解する。	8
6月	Lesson 3 Zoo Dentists 動物の歯科医	動物の歯を治療する仕事はどのようなものであるかについて理解する。	8
	Lesson 4 The First Four Minutes of an Encounter 出会いの最初の4分	初対面の人と会話をする際に「最初の4分」が重要であることについて理解する。	8
9月	Lesson 5 A Promising Surfer from Japan	プロサーファーである大原洋人選手について理解する。	10
		1 学期中間考査	1
		1 学期期末考査	1

	(プロサーファー, 大原洋人選手)		
10月	Lesson 6 Where Does Halloween Come from? ハロウィーンの起源と歴史	ハロウィーンの起源と歴史について知る。	10 1
11月	Lesson 7 A Science Award That Makes You Laugh, and Then Think イグ・ノーベル賞	イグ・ノーベル賞を受賞した研究の内容を知り, 賞の意義について考える。	11
12月	Lesson 8 A Nature Photographer in Alaska 写真家, 松本紀生さん	写真家, 松本紀生さんが写真家になるまでの道のりと現在の生活について理解する。	11 1
	まとめ・演習		2学期期末考査

英語科 3年		コミュニケーション英語Ⅲ		年間授業計画（シラバス）	
科目名	コミュニケーション英語Ⅲ	対象	進学文系	コース	単位数 4 単位
教科書	Power On Communication III		出版社	東京書籍	
副教材	Power On Communication III Workbook				

### 1 学習の到達目標

<p>① 英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。</p> <p>② 情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする基礎的な能力を身につけ、社会生活において活用する。</p>
--

### 2 評価の観点・趣旨・方法、成績評価の方法

#### ① 評価の観点・趣旨・方法

評価の観点	関心・意欲・態度	表現の能力	理解の能力	知識・理解
評価の内容	コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする。	英語で話したり書いたりして、情報や考えなどを適切に伝えている。	英語を聞いたり読んだりして、情報や考えなどを的確に理解している。	英語やその運用についての知識を身に付けているとともに、言語の背景にある文化などを理解している。
評価の方法	学習活動への姿勢 ノートプリント 課題提出	学習活動への姿勢 ノートプリント 定期考査	学習活動への姿勢 ノートプリント 定期考査	学習活動への姿勢 ノートプリント 定期考査

#### ②成績評価の方法

① の評価の方法によって、学年末にまとめます。

評価の内容 定期考査 8割 平常点（学習態度・小テスト・課題など） 2割

### 3 学習計画

月	学習単元	主な学習内容と到達目標	時間数
4月	予習復習体験学習	学習の仕方を理解する。	1
5月	Lesson 1 Emoji as a Universal “Language” 絵文字	絵文字がどのように使われるようになっているかについて理解する。	8
	Lesson 2 How Was the Olympic Symbol Created? オリンピックのシンボル	オリンピックの旗の意味について理解する。	8
6月		<b>1学期中間考査</b>	1
	Lesson 3 Zoo Dentists 動物の歯科医	動物の歯を治療する仕事はどのようなものであるかについて理解する。	8
	Lesson 4 The First Four Minutes of an Encounter 出合いの最初の4分	初対面の人と会話をする際に「最初の4分」が重要であることについて理解する。	8
9月		<b>1学期期末考査</b>	1
	Lesson 5	プロサーファーである大原洋人選手について理解す	10

	<p>A Promising Surfer from Japan (プロサーファー, 大原洋人選手)</p>	<p>る。</p>	<p>10</p>
<p>10月</p>	<p>Lesson 6 Where Does Halloween Come from? ハロウィーンの起源と歴史</p>	<p>ハロウィーンの起源と歴史について知る。</p>	<p>1</p>
		<p style="text-align: right;">2学期中間考査</p>	
<p>11月</p>	<p>Lesson 7 A Science Award That Makes You Laugh, and Then Think イグ・ノーベル賞</p>	<p>イグ・ノーベル賞を受賞した研究の内容を知り, 賞の意義について考える。</p>	<p>11</p>
<p>12月</p>	<p>Lesson 8 A Nature Photographer in Alaska 写真家, 松本紀生さん</p>	<p>写真家, 松本紀生さんが写真家になるまでの道のりと現在の生活について理解する。</p>	<p>11</p>
	<p>まとめ・演習</p>	<p style="text-align: right;">2学期期末考査</p>	<p>1</p>

英語科 3年		コミュニケーション英語Ⅲ		年間授業計画（シラバス）	
科目名	コミュニケーション英語Ⅲ	対象	特進コース	単位数	4 単位
教科書	PROMINENCE Communication English III	出版社	東京書籍		
副教材	Change the World Standard（いいずな書店）				

### 1 学習の到達目標

① 英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。
② 情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする基礎的な能力を身につけ、社会生活において活用する。

### 2 評価の観点・趣旨・方法、成績評価の方法

#### ① 評価の観点・趣旨・方法

評価の観点	関心・意欲・態度	表現の能力	理解の能力	知識・理解
評価の内容	コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする。	英語で話したり書いたりして、情報や考えなどを適切に伝えている。	英語を聞いたり読んだりして、情報や考えなどを的確に理解している。	英語やその運用についての知識を身に付けているとともに、言語の背景にある文化などを理解している。
評価の方法	学習活動への姿勢 ノートプリント 課題提出	学習活動への姿勢 ノートプリント 定期考査	学習活動への姿勢 ノートプリント 定期考査	学習活動への姿勢 ノートプリント 定期考査

#### ② 成績評価の方法

① の評価の方法によって、学年末にまとめます。

評価の内容 定期考査8割 平常点（学習態度・小テスト・課題など）2割

### 3 学習計画

月	学習単元	主な学習内容と到達目標		時間
		内容（場面）	取り上げる Reading Skills	
4	予習復習体験学習 Lesson 1 Ito Jakuchu —The Rediscovered Artist	若冲の絵の特徴や独特の技巧について読み解き、日本の美術について考える。	スキヤニング 必要な情報を素早く見つける。 スキミング 文章の大意を把握する。	1 3
5	Lesson 2 Leaving Microsoft to Change the World	人生における新たな進路の選択について考える。	スキヤニング 必要な情報を素早く見つける。 語句の推測 語の形に注目する。 <b>1学期中間考査</b>	1 3
6	Lesson 3 A One-Million-Dollar Lottery Ticket	100万ドルの当たり宝くじ券を巡って、アメリカで三つ巴の裁判訴訟が起こった。所有権を主張する3人の訴えを読み、その所有権は誰にあるのかを考える。	スキミング 文章の大意を把握する。	1 3
7	Lesson 4 Recycling Hotel Soap to Save Lives	世界の衛生状態の格差や乳幼児の死亡率などについて考える。	スキヤニング 必要な情報を素早く見つける。 スキミング	6

			文章の大意を把握する。 <b>1学期期末考査</b>	
8	Lesson 5 Question Authority!	日本人とアメリカ人とは大きく異なる、「権威」に対したときの考え方や態度について学び、その違いがどのような行動になって表れるかについて考える。	スキヤニング 必要な情報を素早く見つける。	2
9			スキミング 文章の大意を把握する。 <b>日大基礎学力到達度テスト</b>	1 3
1 0	Lesson 6 The True Cost of Fast Fashion	ファーストファッションの衣料品は、流行を取り入れているのに安価なので、消費者は何も考えずに買い求めてしまう。その生産に伴う、いくつかの深刻な問題について考える。	スキヤニング 必要な情報を素早く見つける。 スキミング 文章の大意を把握する。 <b>2学期中間考査</b>	1 3
1 1	Lesson 7 What Is College For?	大学は何のためにあるのかという問いを、現在の社会情勢と照らし合わせつつ、広い視野をもって考える。	スキミング 文章の大意を把握する。 語句の推測 前後の文脈を活用する。  <b>2学期期末考査</b>	1 0
1 2	Lesson 8 Attitudes toward Time	世界の各地域における時間に対する考え方や対応の仕方の相違は、どこから生まれるのだろうか。世界中の事例といろいろな仮説を読み解きながら、時間に対する人々の姿勢について考える。	スキヤニング 必要な情報を素早く見つける。  スキミング 文章の大意を把握する。	4

英語科 3年		英語表現Ⅱ		年間授業計画 (シラバス)	
科目名	英語表現Ⅱ	対象	スポーツコース	単位数	2 単位
教科書	MY WAY English Expression II		出版社	三省堂	
副教材	EARTHRISE English Grammar in 22 Stages (数研出版)				

### 1 学習の到達目標

<p>①英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。</p> <p>②事実や意見などを多様な観点から考察する。</p> <p>③論理の展開や表現の方法を工夫しながら伝える能力を養う。</p>
--

### 2 評価の観点・趣旨・方法、成績評価の方法

#### ①評価の観点・趣旨・方法

評価の観点	関心・意欲・態度	表現の能力	知識・理解
評価の内容	コミュニケーションに関心をもち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする。	事実や意見などを多様な観点から考察し、論理の展開や表現の方法を工夫しながら英語で伝えている。	英語やその運用についての知識を身に付けているとともに、言語の背景にある文化などを理解している。
評価の方法	学習活動への姿勢 ノートプリント 課題提出	学習活動への姿勢 ノートプリント 定期考査	学習活動への姿勢 ノートプリント 定期考査

#### ②成績評価の方法

① の評価の方法によって、学年末にまとめます。

評価の内容 定期考査 8割 平常点 (学習態度・小テスト・課題など) 2割

### 3 学習計画

月	学習単元	主な学習内容と到達目標	時間数
4月	<b>Unit 1</b> Lesson 1	<p>●英文の構造と文章の構造を理解する。 文をつくる品詞のいろいろ／文の中心となる動詞／語の順序と文型／句と節／品詞他</p> <p>・現在形、現在進行形、未来進行形についての理解をさらに深め、コミュニケーションを図ろうとする。</p> <p>・未来完了形、過去完了進行形や未来完了進行形についての理解をさらに深め、コミュニケーションを図ろうとする。</p> <p>・had better, ought to, need (not)などの義務や必要性を表す助動詞についての理解をさらに深め、コミュニケーションを図ろうとする。</p> <p>・would, used to などの過去の習慣を表す助動詞や、助動詞を伴う慣用表現などについての理解をさらに深め、コミュニケーションを図ろうとする。</p> <p>・完了形や進行形の受動態、受動態を用いた発展的な表現などについての理解をさらに深め、コミュニケーションを図ろうとする。</p>	2
	Lesson 2 Review Exercise 1		16
5月	Lesson 3		
	Lesson 4		
	Lesson 5 Review Exercise 2		
<b>1学期中間考査</b>			

6月	<b>Unit 2</b> Lesson 6  Lesson 7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自動詞＋不定詞やSVO＋不定詞のさまざまな表現についての理解をさらに深め、コミュニケーションを図ろうとする。</li> <li>・疑問詞＋不定詞や完了形、進行形、受動態の不定詞についての理解をさらに深め、コミュニケーションを図ろうとする。</li> </ul>	16
7月	Lesson 8  Lesson 9  Lesson 10 Review Exercise 3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・完了形、受動態の動名詞、動名詞を用いたさまざまな慣用表現についての理解をさらに深め、コミュニケーションを図ろうとする。</li> <li>・目的語として不定詞が続く動詞と動名詞が続く動詞の違いや特徴、不定詞を用いたさまざまな慣用表現についての理解を深め、コミュニケーションを図ろうとする。</li> <li>・完了形の分詞構文、現在分詞・過去分詞を用いた否定の分詞構文や独立分詞構文、withを用いて付帯状況を表す表現についての理解を深め、コミュニケーションを図ろうとする。</li> </ul>	16
9月	<b>Unit 3</b> Lesson 11	<ul style="list-style-type: none"> <li>・形容詞や副詞の比較級や最上級、asなどを用いたさまざまな慣用的比較表現についての理解を深め、コミュニケーションを図ろうとする。</li> </ul>	16
10月	Lesson 12  Review Exercise 4 Lesson 13 Lesson 14 Review Exercise 5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関係代名詞、関係副詞の非制限用法や複合関係詞についての理解を深め、コミュニケーションを図ろうとする。</li> <li>・ifを用いずに条件を表す仮定法の表現や、仮定法を用いたさまざまな表現についての理解を深め、コミュニケーションを図ろうとする。</li> <li>・間接話法や否定のさまざまな表現についての理解を深め、コミュニケーションを図ろうとする。</li> </ul>	16
11月	<b>Unit 4</b> Lesson 15	<ul style="list-style-type: none"> <li>・世間一般の人を表すwe, youなどを含む代名詞を用いたさまざまな表現についての理解を深め、コミュニケーションを図ろうとする。</li> </ul>	16
12月	Lesson 16  Lesson 17  Lesson 18 Review Exercise 6  Lesson 19	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「～するとすぐ」を表すいくつかの表現を含むさまざまな時間構文を用いたさまざまな表現についての理解を深め、コミュニケーションを図ろうとする。</li> <li>・無生物主語構文、名詞構文の代表的なものを用いたさまざまな表現についての理解を深め、コミュニケーションを図ろうとする。</li> <li>・no matterを用いたものを含む譲歩構文の代表的なものを用いたさまざまな表現についての理解を深め、コミュニケーションを図ろうとする。</li> <li>・結果・程度構文、目的構文の代表的なものを用いたさまざまな表現についての理解を深め、コミュニ</li> </ul>	16

	Lesson 20	<p>ケーションを図ろうとする。</p> <p>・強調表現、同格表現の代表的なものを用いたさまざまな表現についての理解を深め、コミュニケーションを図ろうとする。</p> <p><b>2学期期末考査</b></p>	
--	-----------	--	--

英語科 3年		英語表現Ⅱ		年間授業計画（シラバス）	
科目名	英語表現Ⅱ	対象	進学文系コース	単位数	4 単位
教科書	MY WAY English Expression II		出版社	三省堂	
副教材	英文法演習 New Frame 650（桐原書店）				

### 1 学習の到達目標

<p>①英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。</p> <p>②事実や意見などを多様な観点から考察する。</p> <p>③論理の展開や表現の方法を工夫しながら伝える能力を養う。</p>
--

### 2 評価の観点・趣旨・方法、成績評価の方法

#### ① 評価の観点・趣旨・方法

評価の観点	関心・意欲・態度	表現の能力	知識・理解
評価の内容	コミュニケーションに関心をもち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする。	事実や意見などを多様な観点から考察し、論理の展開や表現の方法を工夫しながら英語で伝えている。	英語やその運用についての知識を身に付けているとともに、言語の背景にある文化などを理解している。
評価の方法	学習活動への姿勢 ノートプリント 課題提出	学習活動への姿勢 ノートプリント 定期考査	学習活動への姿勢 ノートプリント 定期考査

#### ②成績評価の方法

① の評価の方法によって、学年末にまとめます。

評価の内容 定期考査8割 平常点（学習態度・小テスト・課題など）2割

### 3 学習計画

月	学 習 単 元	主な学習内容と到達目標	時間数
4月	<b>Unit 1</b> Lesson 1	<p>●英文の構造と文章の構造を理解する。 文をつくる品詞のいろいろ／文の中心となる動詞／語の順序と文型／句と節／品詞他</p> <p>・現在形、現在進行形、未来進行形についての理解をさらに深め、コミュニケーションを図ろうとする。</p> <p>・未来完了形、過去完了進行形や未来完了進行形についての理解をさらに深め、コミュニケーションを図ろうとする。</p> <p>・had better, ought to, need (not)などの義務や必要性を表す助動詞についての理解をさらに深め、コミュニケーションを図ろうとする。</p> <p>・would, used to などの過去の習慣を表す助動詞や、助動詞を伴う慣用表現などについての理解をさらに深め、コミュニケーションを図ろうとする。</p> <p>・完了形や進行形の受動態、受動態を用いた発展的な表現などについての理解をさらに深め、コミュニケーションを図ろうとする。</p> <p><b>1学期中間考査</b></p>	2
	Lesson 2 Review Exercise 1		24
5月	Lesson 3		
	Lesson 4		
	Lesson 5 Review Exercise 2		

6月	<b>Unit 2</b> Lesson 6  Lesson 7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自動詞＋不定詞やSVO＋不定詞のさまざまな表現についての理解をさらに深め、コミュニケーションを図ろうとする。</li> <li>・疑問詞＋不定詞や完了形、進行形、受動態の不定詞についての理解をさらに深め、コミュニケーションを図ろうとする。</li> </ul>	24
7月	Lesson 8  Lesson 9  Lesson 10 Review Exercise 3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・完了形、受動態の動名詞、動名詞を用いたさまざまな慣用表現についての理解をさらに深め、コミュニケーションを図ろうとする。</li> <li>・目的語として不定詞が続く動詞と動名詞が続く動詞の違いや特徴、不定詞を用いたさまざまな慣用表現についての理解を深め、コミュニケーションを図ろうとする。</li> <li>・完了形の分詞構文、現在分詞・過去分詞を用いた否定の分詞構文や独立分詞構文、with を用いて付帯状況を表す表現についての理解を深め、コミュニケーションを図ろうとする。</li> </ul>	24
9月	<b>Unit 3</b> Lesson 11	<ul style="list-style-type: none"> <li>・形容詞や副詞の比較級や最上級、as などを用いたさまざまな慣用的比較表現についての理解を深め、コミュニケーションを図ろうとする。</li> </ul>	24
10月	Lesson 12  Review Exercise 4 Lesson 13 Lesson 14 Review Exercise 5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関係代名詞、関係副詞の非制限用法や複合関係詞についての理解を深め、コミュニケーションを図ろうとする。</li> <li>・if を用いずに条件を表す仮定法の表現や、仮定法を用いたさまざまな表現についての理解を深め、コミュニケーションを図ろうとする。</li> <li>・間接話法や否定のさまざまな表現についての理解を深め、コミュニケーションを図ろうとする。</li> </ul>	24
11月	<b>Unit 4</b> Lesson 15	<ul style="list-style-type: none"> <li>・世間一般の人を表す we, you などを含む代名詞を用いたさまざまな表現についての理解を深め、コミュニケーションを図ろうとする。</li> </ul>	24
12月	Lesson 16  Lesson 17  Lesson 18 Review Exercise 6  Lesson 19	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「～するとすぐ」を表すいくつかの表現を含むさまざまな時間構文を用いたさまざまな表現についての理解を深め、コミュニケーションを図ろうとする。</li> <li>・無生物主語構文、名詞構文の代表的なものを用いたさまざまな表現についての理解を深め、コミュニケーションを図ろうとする。</li> <li>・no matter を用いたものを含む譲歩構文の代表的なものを用いたさまざまな表現についての理解を深め、コミュニケーションを図ろうとする。</li> <li>・結果・程度構文、目的構文の代表的なものを用いたさまざまな表現についての理解を深め、コミュニ</li> </ul>	24

	Lesson 20	<p>ケーションを図ろうとする。</p> <p>・強調表現、同格表現の代表的なものを用いたさまざまな表現についての理解を深め、コミュニケーションを図ろうとする。</p> <p><b>2学期期末考査</b></p>	
--	-----------	--	--

英語科 3年		英語表現Ⅱ		年間授業計画（シラバス）	
科目名	英語表現Ⅱ	対象	進学理系コース	単位数	3 単位
教科書	MY WAY English Expression II		出版社	三省堂	
副教材	英文法演習 New Frame 650（桐原書店）				

### 1 学習の到達目標

- ① 英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。
- ② 事実や意見などを多様な観点から考察する。
- ③ 論理の展開や表現の方法を工夫しながら伝える能力を養う。

### 2 評価の観点・趣旨・方法、成績評価の方法

#### ① 評価の観点・趣旨・方法

評価の観点	関心・意欲・態度	表現の能力	知識・理解
評価の内容	コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする。	事実や意見などを多様な観点から考察し、論理の展開や表現の方法を工夫しながら英語で伝えている。	英語やその運用についての知識を身に付けているとともに、言語の背景にある文化などを理解している。
評価の方法	学習活動への姿勢 ノートプリント 課題提出	学習活動への姿勢 ノートプリント 定期考査	学習活動への姿勢 ノートプリント 定期考査

#### ②成績評価の方法

① の評価の方法によって、学年末にまとめます。

評価の内容 定期考査8割 平常点（学習態度・小テスト・課題など）2割

### 3 学習計画

月	学 習 単 元	主な学習内容と到達目標	時間数
4月	<b>Unit 1</b> Lesson 1	●英文の構造と文章の構造を理解する。 文をつくる品詞のいろいろ／文の中心となる動詞／語の順序と文型／句と節／品詞他 ・現在形、現在進行形、未来進行形についての理解をさらに深め、コミュニケーションを図ろうとする。 ・未来完了形、過去完了進行形や未来完了進行形についての理解をさらに深め、コミュニケーションを図ろうとする。 ・had better, ought to, need (not)などの義務や必要性を表す助動詞についての理解をさらに深め、コミュニケーションを図ろうとする。 ・would, used to などの過去の習慣を表す助動詞や、助動詞を伴う慣用表現などについての理解をさらに深め、コミュニケーションを図ろうとする。 ・完了形や進行形の受動態、受動態を用いた発展的な表現などについての理解をさらに深め、コミュニケーションを図ろうとする。 <b>1 学期中間考査</b>	2
	Lesson 2 Review Exercise 1		24
5月	Lesson 3		
	Lesson 4		
	Lesson 5 Review Exercise 2		

6月	<b>Unit 2</b> Lesson 6  Lesson 7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自動詞＋不定詞やSVO＋不定詞のさまざまな表現についての理解をさらに深め、コミュニケーションを図ろうとする。</li> <li>・疑問詞＋不定詞や完了形、進行形、受動態の不定詞についての理解をさらに深め、コミュニケーションを図ろうとする。</li> </ul>	24
7月	Lesson 8  Lesson 9  Lesson 10 Review Exercise 3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・完了形、受動態の動名詞、動名詞を用いたさまざまな慣用表現についての理解をさらに深め、コミュニケーションを図ろうとする。</li> <li>・目的語として不定詞が続く動詞と動名詞が続く動詞の違いや特徴、不定詞を用いたさまざまな慣用表現についての理解を深め、コミュニケーションを図ろうとする。</li> <li>・完了形の分詞構文、現在分詞・過去分詞を用いた否定の分詞構文や独立分詞構文、withを用いて付帯状況を表す表現についての理解を深め、コミュニケーションを図ろうとする。</li> </ul>	24
9月	<b>Unit 3</b> Lesson 11	<ul style="list-style-type: none"> <li>・形容詞や副詞の比較級や最上級、asなどを用いたさまざまな慣用的比較表現についての理解を深め、コミュニケーションを図ろうとする。</li> </ul>	24
10月	Lesson 12  Review Exercise 4 Lesson 13 Lesson 14 Review Exercise 5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関係代名詞、関係副詞の非制限用法や複合関係詞についての理解を深め、コミュニケーションを図ろうとする。</li> <li>・ifを用いずに条件を表す仮定法の表現や、仮定法を用いたさまざまな表現についての理解を深め、コミュニケーションを図ろうとする。</li> <li>・間接話法や否定のさまざまな表現についての理解を深め、コミュニケーションを図ろうとする。</li> </ul>	24
11月	<b>Unit 4</b> Lesson 15	<ul style="list-style-type: none"> <li>・世間一般の人を表すwe, youなどを含む代名詞を用いたさまざまな表現についての理解を深め、コミュニケーションを図ろうとする。</li> </ul>	24
12月	Lesson 16  Lesson 17  Lesson 18 Review Exercise 6  Lesson 19	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「～するとすぐ」を表すいくつかの表現を含むさまざまな時間構文を用いたさまざまな表現についての理解を深め、コミュニケーションを図ろうとする。</li> <li>・無生物主語構文、名詞構文の代表的なものを用いたさまざまな表現についての理解を深め、コミュニケーションを図ろうとする。</li> <li>・no matterを用いたものを含む譲歩構文の代表的なものを用いたさまざまな表現についての理解を深め、コミュニケーションを図ろうとする。</li> <li>・結果・程度構文、目的構文の代表的なものを用いたさまざまな表現についての理解を深め、コミュニ</li> </ul>	24

	Lesson 20	<p>ケーションを図ろうとする。</p> <p>・強調表現、同格表現の代表的なものを用いたさまざまな表現についての理解を深め、コミュニケーションを図ろうとする。</p> <p><b>2学期期末考査</b></p>	
--	-----------	--	--

英語科 3年		英語表現Ⅱ		年間授業計画（シラバス）	
科目名	英語表現Ⅱ	対象	特進コース	単位数	3 単位
教科書	MY WAY English Expression II		出版社	三省堂	
副教材	2023 共通テスト対策 重要問題演習 英語リスニング（ラーズ）				
	2023 共通テスト対策 直前演習 英語リスニング 30 minutes×7（ラーズ）				

### 1 学習の到達目標

- ①英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。
- ②事実や意見などを多様な観点から考察する。
- ③論理の展開や表現の方法を工夫しながら伝える能力を養う。

### 2 評価の観点・趣旨・方法、成績評価の方法

#### ①評価の観点・趣旨・方法

評価の観点	関心・意欲・態度	表現の能力	知識・理解
評価の内容	コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする。	事実や意見などを多様な観点から考察し、論理の展開や表現の方法を工夫しながら英語で伝えている。	英語やその運用についての知識を身に付けているとともに、言語の背景にある文化などを理解している。
評価の方法	学習活動への姿勢 ノートプリント 課題提出	学習活動への姿勢 ノートプリント 定期考査	学習活動への姿勢 ノートプリント 定期考査

#### ②成績評価の方法

① の評価の方法によって、学年末にまとめます。

評価の内容 定期考査8割 平常点（学習態度・小テスト・課題など）2割

### 3 学習計画

月	学習単元	主な学習内容と到達目標	時間数
4月	<b>Unit 1</b> Lesson 1	●英文の構造と文章の構造を理解する。 文をつくる品詞のいろいろ／文の中心となる動詞／語の順序と文型／句と節／品詞他	2
5月	Lesson 2 Review Exercise 1	・現在形、現在進行形、未来進行形についての理解をさらに深め、コミュニケーションを図ろうとする。	10
	Lesson 3	・未来完了形、過去完了進行形や未来完了進行形についての理解をさらに深め、コミュニケーションを図ろうとする。	
	Lesson 4	・ had better, ought to, need (not)などの義務や必要性を表す助動詞についての理解をさらに深め、コミュニケーションを図ろうとする。	
	Lesson 5 Review Exercise 2	・ would, used to などの過去の習慣を表す助動詞や、助動詞を伴う慣用表現などについての理解をさらに深め、コミュニケーションを図ろうとする。 ・完了形や進行形の受動態、受動態を用いた発展的な表現などについての理解をさらに深め、コミュニケーションを図ろうとする。	6

<p>6月</p> <p><b>Unit 2</b></p> <p>Lesson 6</p> <p>Lesson 7</p> <p>7月</p> <p>Lesson 8</p> <p>Lesson 9</p> <p>Lesson 10</p> <p>Review Exercise 3</p>		<p><b>1 学期中間考査</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自動詞＋不定詞やSVO＋不定詞のさまざまな表現についての理解をさらに深め、コミュニケーションを図ろうとする。</li> <li>・疑問詞＋不定詞や完了形、進行形、受動態の不定詞についての理解をさらに深め、コミュニケーションを図ろうとする。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・完了形、受動態の動名詞、動名詞を用いたさまざまな慣用表現についての理解をさらに深め、コミュニケーションを図ろうとする。</li> <li>・目的語として不定詞が続く動詞と動名詞が続く動詞の違いや特徴、不定詞を用いたさまざまな慣用表現についての理解を深め、コミュニケーションを図ろうとする。</li> <li>・完了形の分詞構文、現在分詞・過去分詞を用いた否定の分詞構文や独立分詞構文、with を用いて付帯状況を表す表現についての理解を深め、コミュニケーションを図ろうとする。</li> </ul>	<p>18</p>
<p>9月</p> <p><b>Unit 3</b></p> <p>Lesson 11</p> <p>Lesson 12</p> <p>Review Exercise 4</p> <p>Lesson 13</p> <p>Lesson 14</p> <p>Review Exercise 5</p> <p>共通テスト重要問題演習</p>		<p><b>1 学期期末考査</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・形容詞や副詞の比較級や最上級、as などを用いたさまざまな慣用的比較表現についての理解を深め、コミュニケーションを図ろうとする。</li> <li>・関係代名詞、関係副詞の非制限用法や複合関係詞についての理解を深め、コミュニケーションを図ろうとする。</li> <li>・if を用いずに条件を表す仮定法の表現や、仮定法を用いたさまざまな表現についての理解を深め、コミュニケーションを図ろうとする。</li> <li>・間接話法や否定のさまざまな表現についての理解を深め、コミュニケーションを図ろうとする。</li> </ul>	<p>18</p>
<p>10月</p> <p>共通テスト重要問題演習</p> <p>共通テスト重要直前演習</p>		<p>共通テスト対策演習を行い、時間配分や傾向の把握をする。</p> <p><b>2 学期中間考査</b></p>	<p>18</p>
<p>11月</p> <p>共通テスト直前演習</p>		<p>共通テスト対策演習を行い、時間配分や傾向の把握をする。</p>	
<p>12月</p> <p>共通テスト直前演習</p>		<p><b>2 学期期末考査</b></p>	